BOSTON CONSULTING GROUP

令和7年度
サプライチェーン全体のCO_2排出量見える化
促進事業委託業務

カーボンフットプリント（CFP）セミナー

資料

令和7年(2025年) 8月25日

大阪府

カーボンフットプリント（CFP）セミナー

01 ご挨拶

02 CFPの概要
- CFPとは何か
- CFPが求められる背景

03 CFPの取り組み方　導入編

04 令和6年度CFPモデル事業参加者の声

05 CFPワークショップ/個別伴走支援のご案内

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

カーボンフットプリント（CFP）セミナー

01 ご挨拶

02 CFPの概要
- CFPとは何か
- CFPが求められる背景

03 CFPの取り組み方　導入編

04 令和6年度CFPモデル事業参加者の声

05 CFPワークショップ/個別伴走支援のご案内

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

ご挨拶

大阪府

大阪府　環境農林水産部
脱炭素・エネルギー政策課
気候変動緩和・適応策
推進グループ
気候変動緩和・適応策
推進補佐

山本　祐一様

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

本日の登壇者

伊原　彩乃

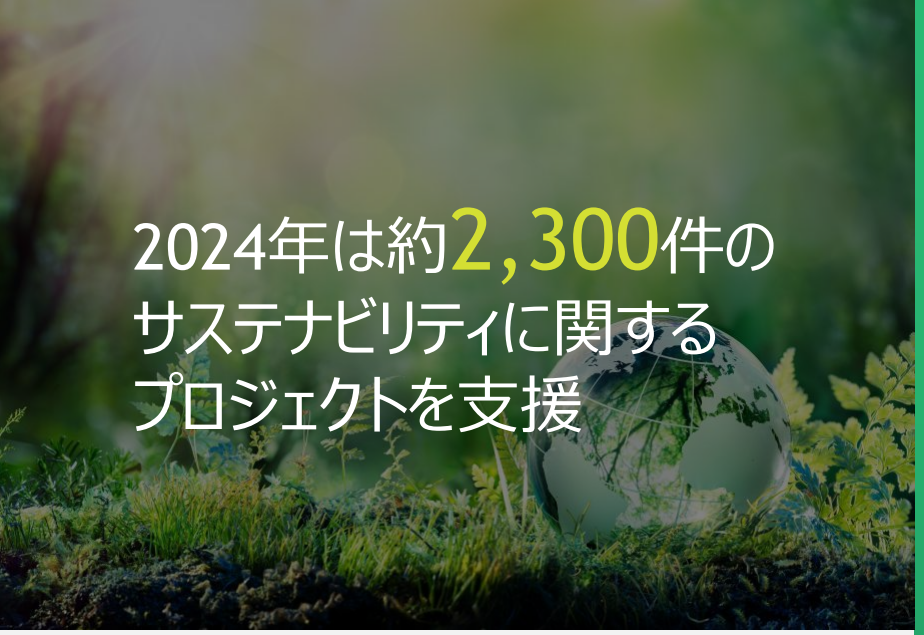
ボストン コンサルティング グループ
プリンシパル

環境省・農林水産省・大阪府等のCFPに関する事業をご支援。

「CFPガイドライン(別冊) CFP実践ガイド」(経済産業省・環境省) 等のCFPのルール策定支援や、CFPの実行支援の経験を多数有する。

環境省 地球温暖化対策計画フォローアップ専門委員会 委員

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.



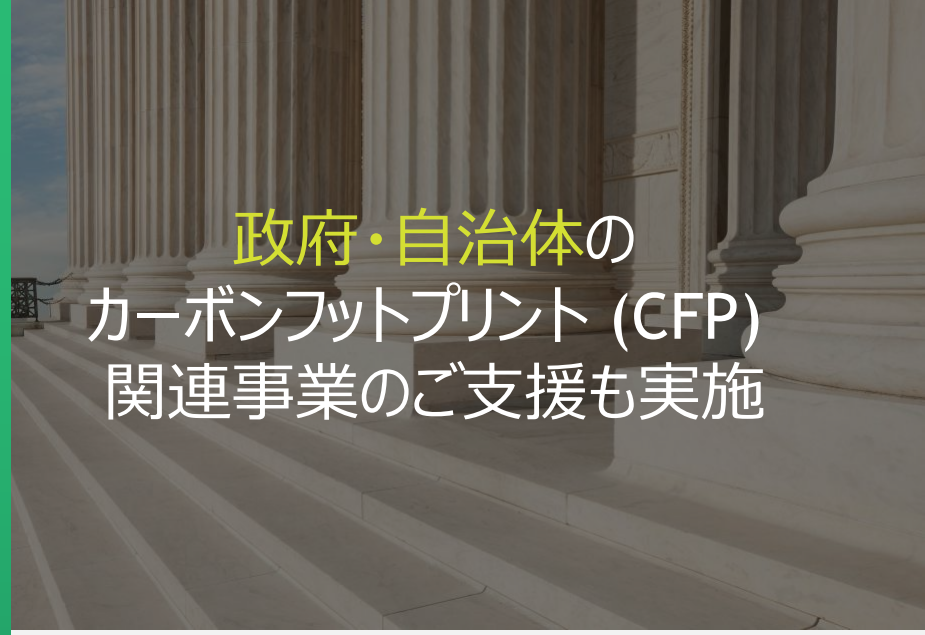
2024年は約2,300件のサステナビリティに関するプロジェクトを支援

気候変動/サステナビリティに関するプロジェクト件数(グローバル全体)

Note: ご支援内容は一例
出所: BCG

ボストンコンサルティンググループ (BCG)のご支援

BCG BOSTON CONSULTING GROUP



政府・自治体のカーボンフットプリント (CFP)関連事業のご支援も実施

環境省	• カーボンフットプリント (CFP) の在り方検討と促進支援
農林水産省	• 加工食品におけるCFP共通ルール策定・実証
経済産業省	• サプライチェーンの排出量可視化 / CFP促進の検討
大阪府	• CFPモデル事業 (B2C製品)

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

カーボンフットプリント（CFP）セミナー

01 ご挨拶

02 CFPの概要
- CFPとは何か
- CFPが求められる背景

03 CFPの取り組み方　導入編

04 令和6年度CFPモデル事業参加者の声

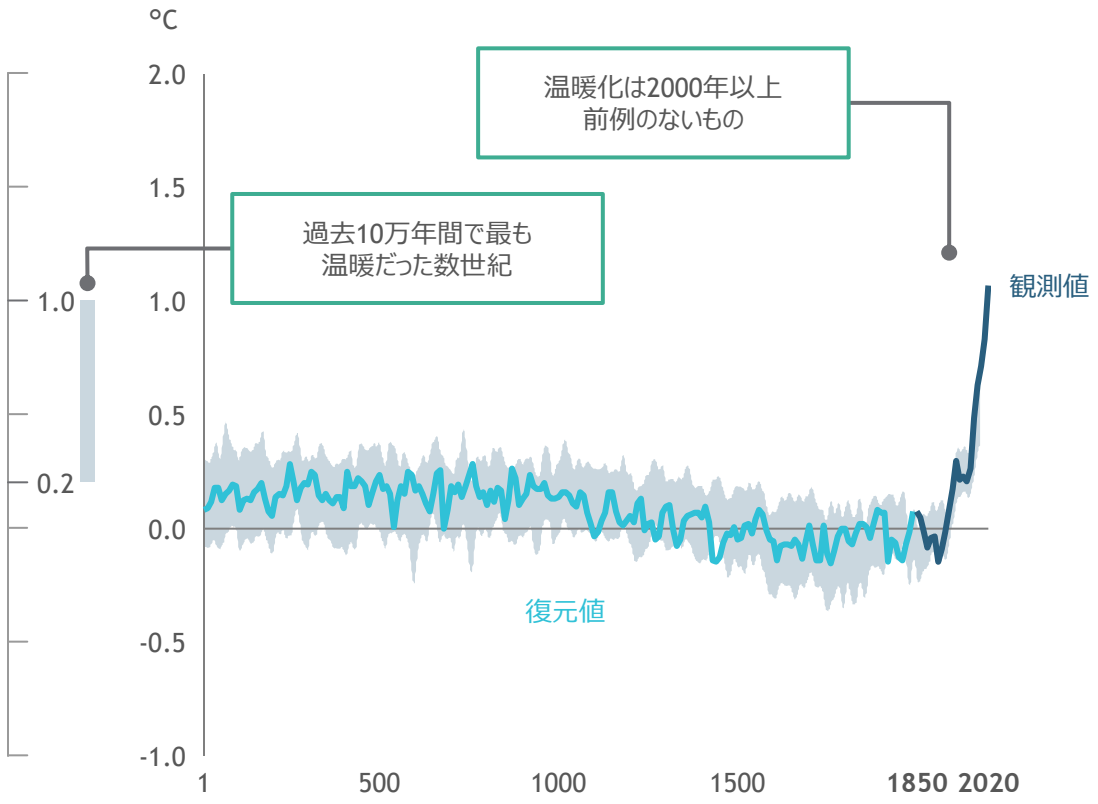
05 CFPワークショップ/個別伴走支援のご案内

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

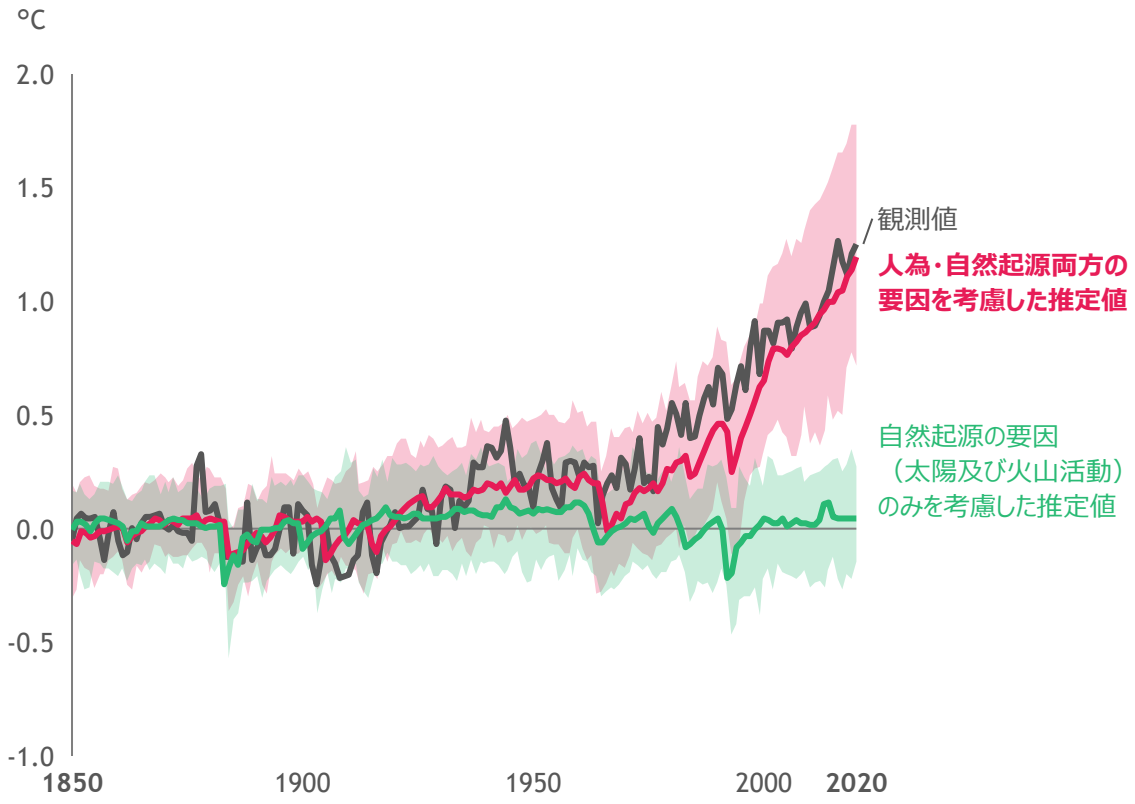
なぜCFPなのか

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書にて「人間の影響が地球温暖化に影響を与えている」と明言され、既に1.09度、地球の平均気温は上昇

世界平均気温(10年平均) の変化
復元値 (1-2000) **観測値**(1850-2020)



世界平均気温(年平均)の変化
観測値 、**人為・自然起源両方の要因を考慮した推定値**、
自然起源の要因のみを考慮した推定値 (both 1850-2020)

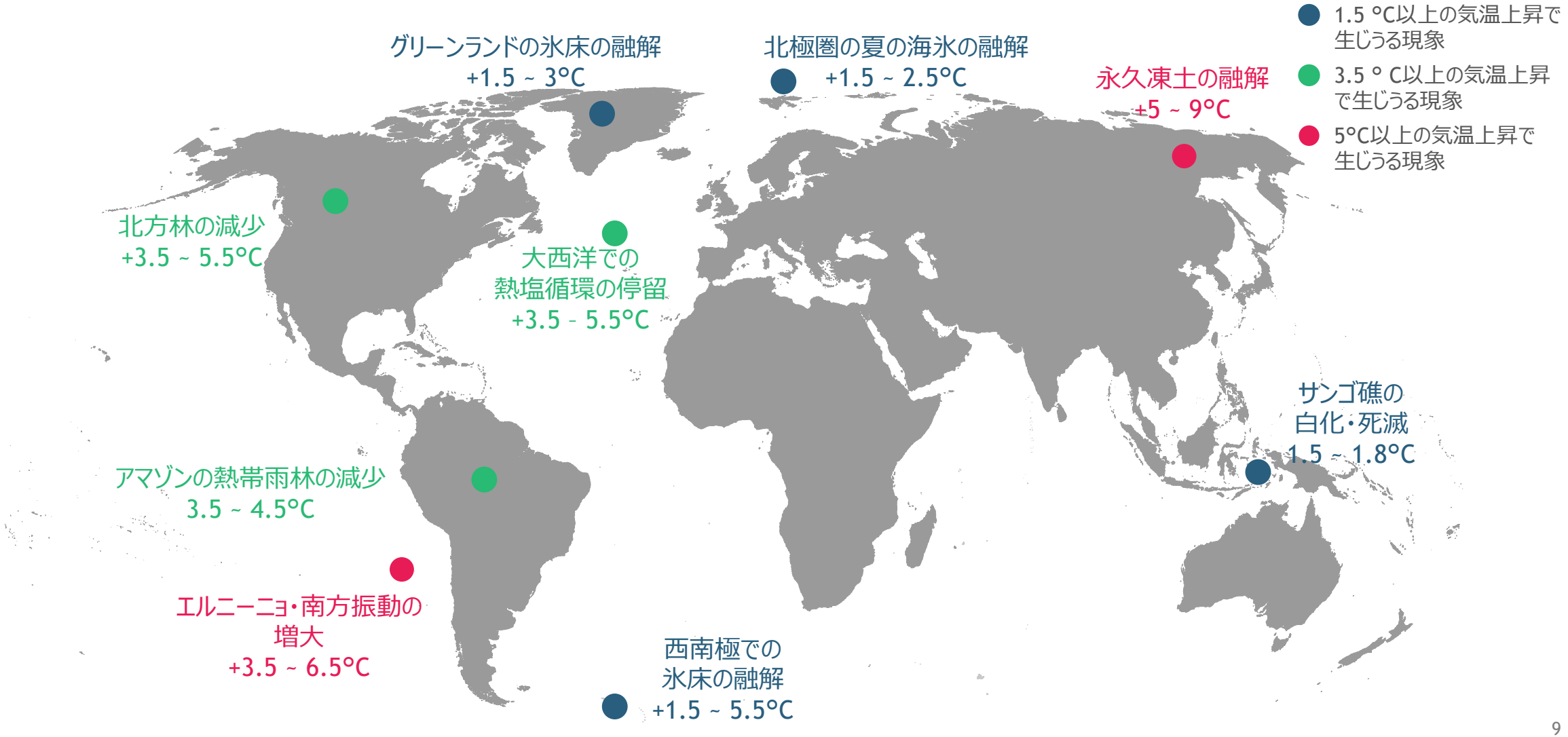


出所: IPCC AR6 Physical Science Report(2021年8月)、WWF

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

気温上昇により、世界各地の自然環境に対して、大きなインパクトが発生

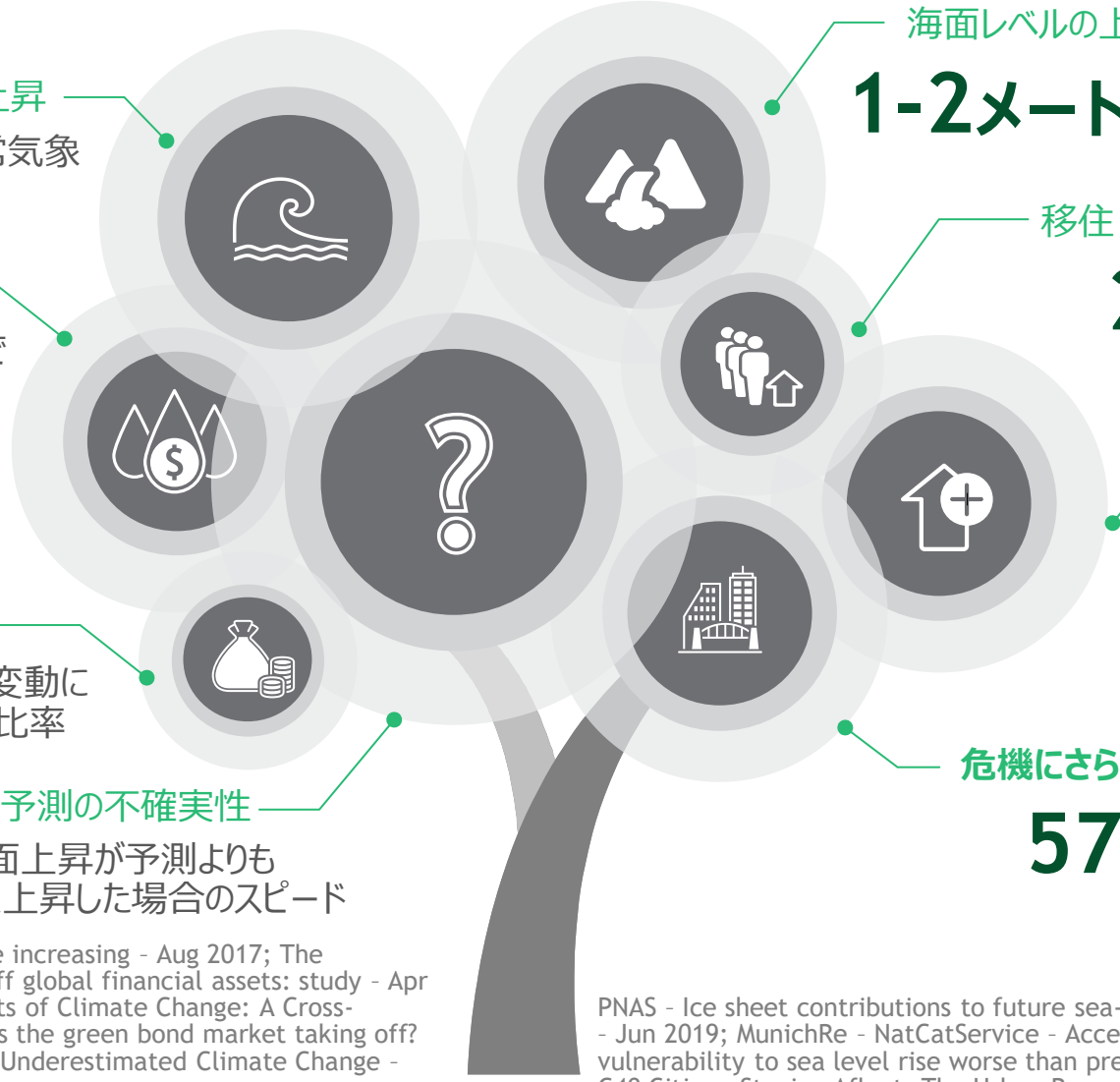
温暖化の与えるインパクト (1/2)



Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

自然環境の変化は気象災害の激化等をもたらし、社会・経済にダメージを及ぼす可能性

温暖化の与えるインパクト(2/2)



異常気象の頻度の上昇

2-4倍 1980年から年間の異常気象の増加率

経済の景気減速

10-30% 2100年までのグローバルでのGDPの損失(温暖化が無かったケースとの比較)

投資家からの圧力の増加

70% 2030年における気候変動に感度の高い投資家の比率

予測の不確実性

2倍 海面上昇が予測よりも早く上昇した場合のスピード

海面レベルの上昇

1-2メートル 次の100年で海面が上昇するレベル

移住・避難のリスク

2億人 2050年までに移動を余儀なくされる人の数

増加する被害

8兆ドル 2050年までの気候変動に伴って生じる被害

危機にさらされる都市

570 2050年までに海面が0.5m上昇することにより水没等の影響を受ける都市の数

出所: The Economist - Weather-related disasters are increasing - Aug 2017; The Guardian - Climate change will wipe $2.5tn off global financial assets: study - Apr 2016; NBER - Long-Term Macroeconomic Effects of Climate Change: A Cross-Country Analysis - Aug 2019; Sustainafuture - Is the green bond market taking off? - Feb 2019; Scientific America - How the IPCC Underestimated Climate Change - Dec 2012, EIU

PNAS - Ice sheet contributions to future sea-level rise from structured expert judgment - Jun 2019; MunichRe - NatCatService - Accessed Feb 2020; Climate Central - Global vulnerability to sea level rise worse than previously understood - Oct 2019; C40 Cities - C40 Cities - Staying Afloat: The Urban Response to Sea Level Rise - Accessed Jan 202010

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

なぜ、いま カーボンフットプリント (CFP) が 必要なのか

1. 消費者の視点

2. 企業のGHG排出量削減の視点

3. 政府・自治体のCFP推進の視点

出所: ボストン コンサルティング グループ作成

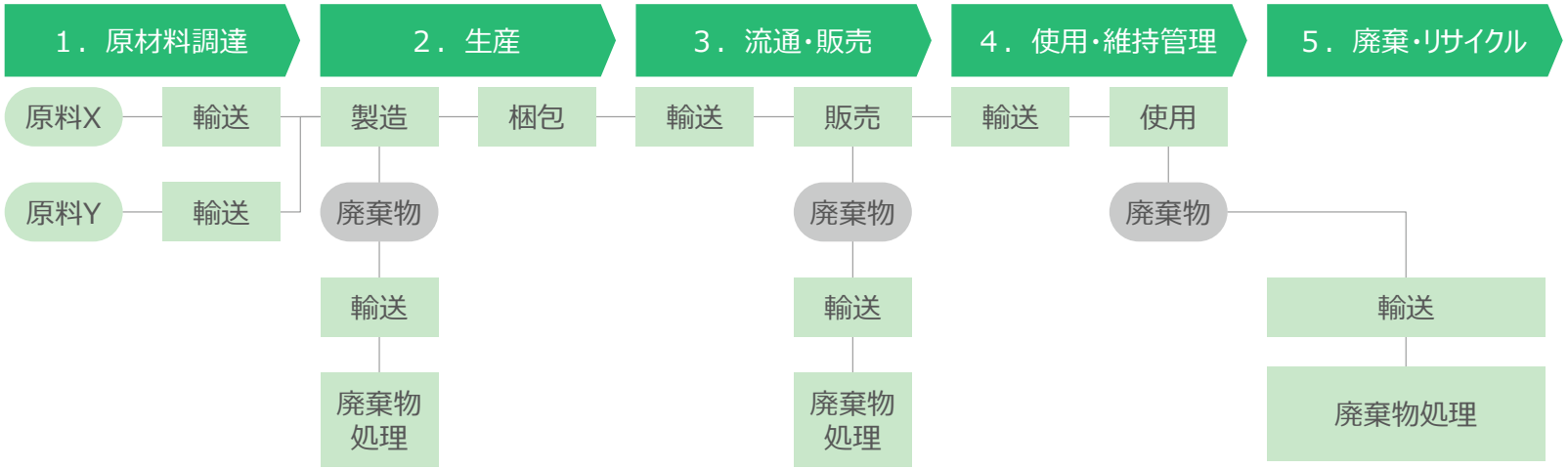
Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

カーボンフットプリント(CFP)とは、製品の全てのプロセスで排出される温室効果ガス(GHG[1])量の合計のこと

カーボンフットプリント(CFP)
12.5kg-CO_2eq

製品が原材料調達から
お客様によって廃棄される
までに排出する温室効果
ガスのCO_2相当量

算定方法のイメージ



- **各プロセスの活動量に排出係数を乗じてGHG排出量を計算し、その合計がCFPとなる**

活動量
原材料の重量、製造における電力投入量　など

（例）　原料Yの重量
X.Xkg

×

排出係数
各プロセスの単位あたりGHG排出量

（例）　原料Yの排出係数
XXkgCO_2e/kg

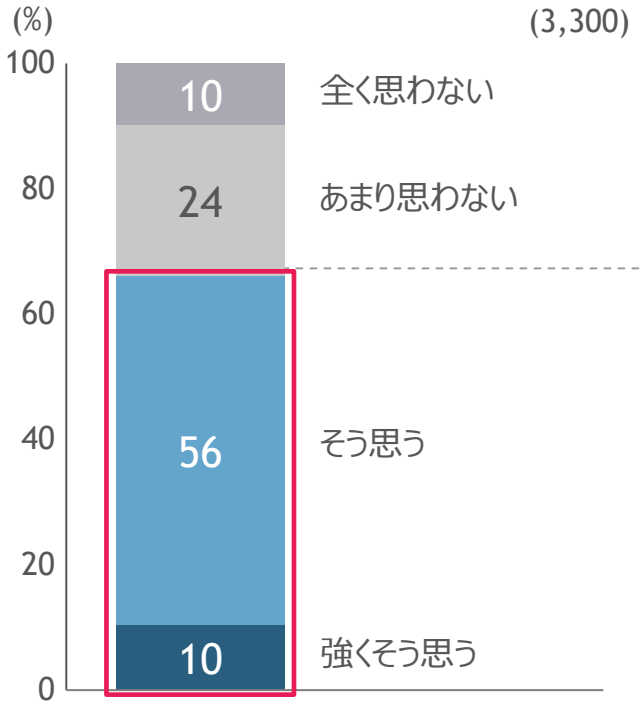
1．Green House Gas の略で、気候変動に影響を与える温室効果ガスのこと
出所：ボストン コンサルティング グループ作成

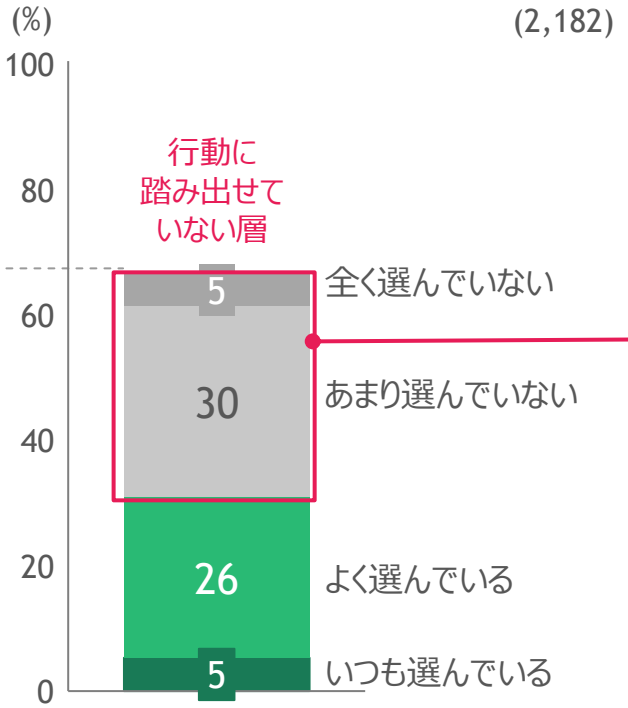
Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

環境負荷の少ない商品を買いたいが、行動に踏み出せていない理由の上位は情報不足
既存の"サステナブル"、"エコ"といった表現から踏み込んだ情報提供が求められている

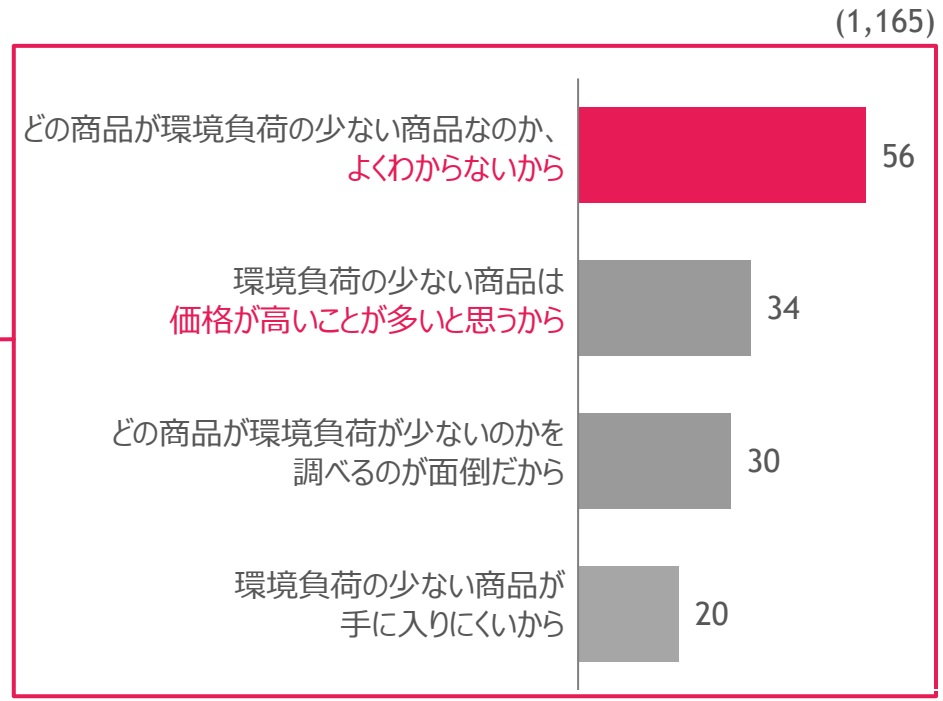
なぜ、いまCFPが必要なのか (1. 消費者・顧客企業の視点)

消費者の7割以上が、購買行動を変える意思を持つが、その半数は足踏み中





情報提供が最重要



1. 質問文:「地球温暖化/気候変動」対策として、あなたは今後のお買い物で環境負荷の少ない商品を選びたいと思いますか (単一回答)
2. 質問文:「地球温暖化/気候変動」対策として、あなたは今現在のお買い物において環境負荷の少ない商品を選んでいますか (単一回答)
3. 質問文:「地球温暖化/気候変動」対策として、あなたが今現在のお買い物において環境負荷の少ない商品を選んでいないのはなぜですか。あてはまるものを3つまでお選びください。10%以上の回答を抜粋

Note: () 内はn数

出所: ボストン コンサルティング グループ「サステナブルな社会の実現に関する消費者意識調査 」(2024年1月調査、https://www.bcg.com/ja-jp/publications/2023/understanding-a-sustainable-society)

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

CFPの表示は、欧米市場・中国市場において、商品・企業のブランディング強化策として取り入れられつつある

なぜ、いまCFPが必要なのか (1. 消費者・顧客企業の視点)

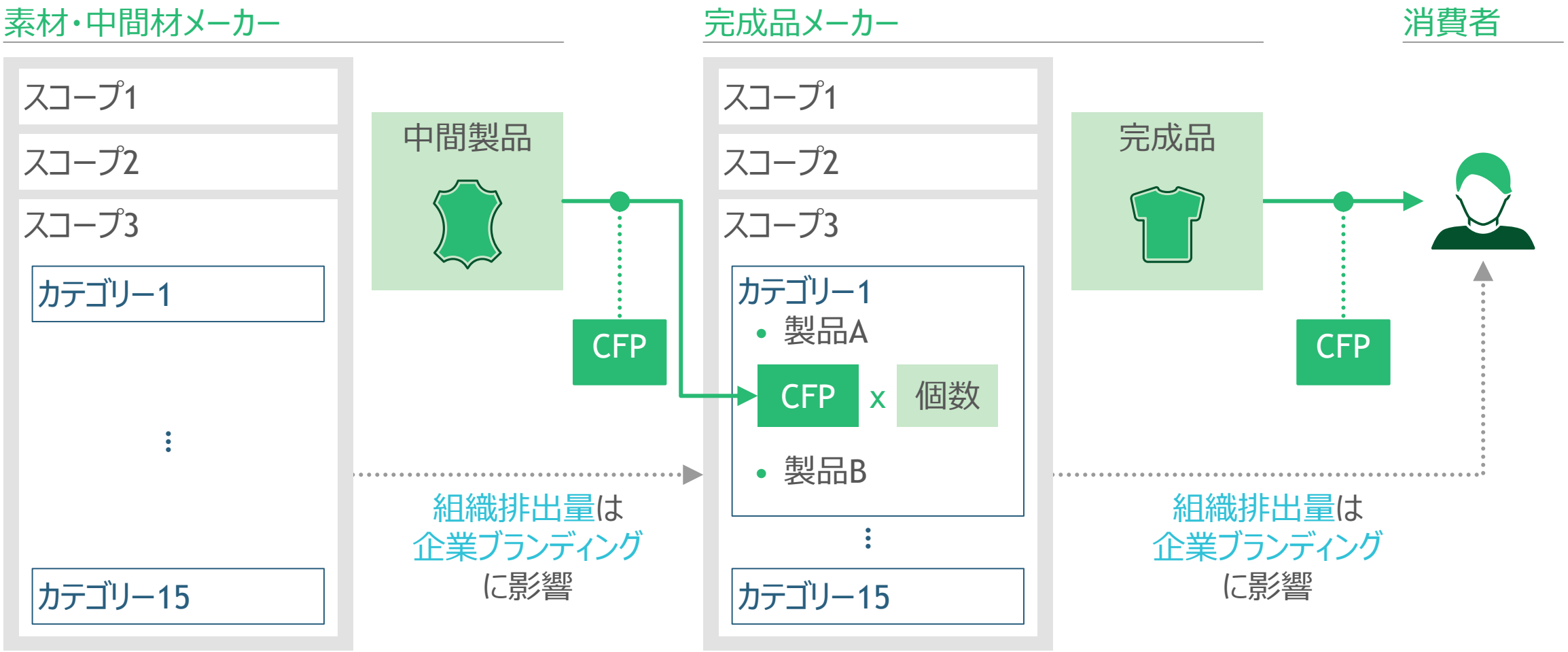
	製品	概要
欧米	スニーカー (Adidas)	• サステナブル素材/低炭素なプロセスに力を入れているスニーカーのCFPを算定 • ソールにCFPの数値を記載 • 2021年5月に発売開始
	食品 (Foundation Earth)	• CFP、水資源、水質汚染、生物多様性の4つの観点についてA+~Gのランクづけ • 食品業者11社 (Nestle、PEPSICOなど)、小売9社 (Tesco、Lidleなど)が参画 • 2021年秋にパイロット開始
中国	アイスクリーム (Yili)	• 高級アイスクリームのCFPを算定 (1箱あたり9.7kg-CO2eq) • オフセットを行い、箱の正面に「炭素ゼロ」と表示 • 2022年5月に発売開始。他にも、カーボンニュートラルとなる粉ミルク、牛乳、ヨーグルトを発売
	有機粉ミルク (Nestle)	• 有機粉ミルクのCFPを算定 (1缶あたり"14.2kg-CO2eq) • オフセットを行い、カーボンニュートラル有機粉ミルクとして発売 • 2022年6月に発売開始

出所: 各社/組織HP; CFP実践ガイド (経済産業省・環境省); CFPガイドライン (経済産業省・環境省); デスクトップ調査; ボストン コンサルティング グループ分析

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

他者にグリーン製品の価値を伝えるためには、CFP等の製品単位への変換が必要

なぜ、いまCFPが必要なのか (1. 消費者・顧客企業の視点)



出所: ボストン コンサルティング グループ

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

自社の排出状況を把握し、効率的に削減策を進めるためにも重要

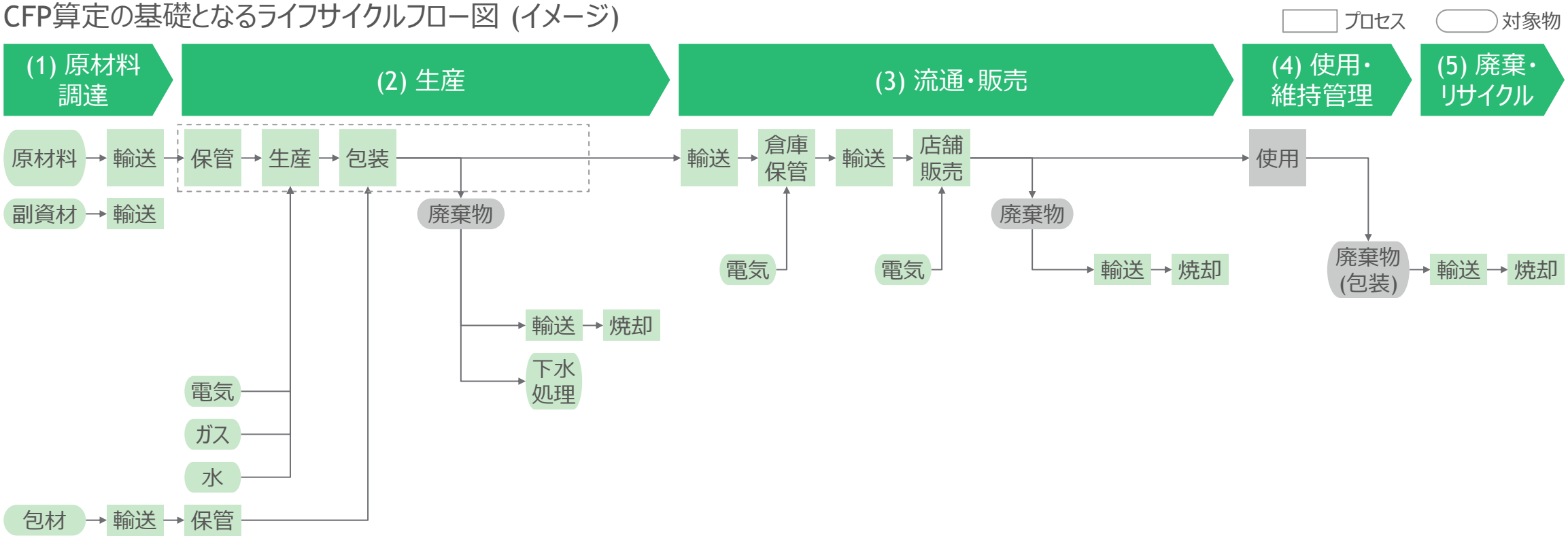
なぜ、いまCFPが必要なのか (2. 企業のGHG排出量削減の視点)

製品のライフサイクルの各項目に対する排出量を算定し、
合計してCFPを算定
=製品毎のGHG排出量を包括的かつ詳細に把握可能

製品単位で排出量の多い項目を正確に把握することで、
効率的な削減策を進めることが可能に

- 組織全体のGHG排出量算定では捉えられなかった部分も含めて、全体感をつかむことができる

CFP算定の基礎となるライフサイクルフロー図 (イメージ)



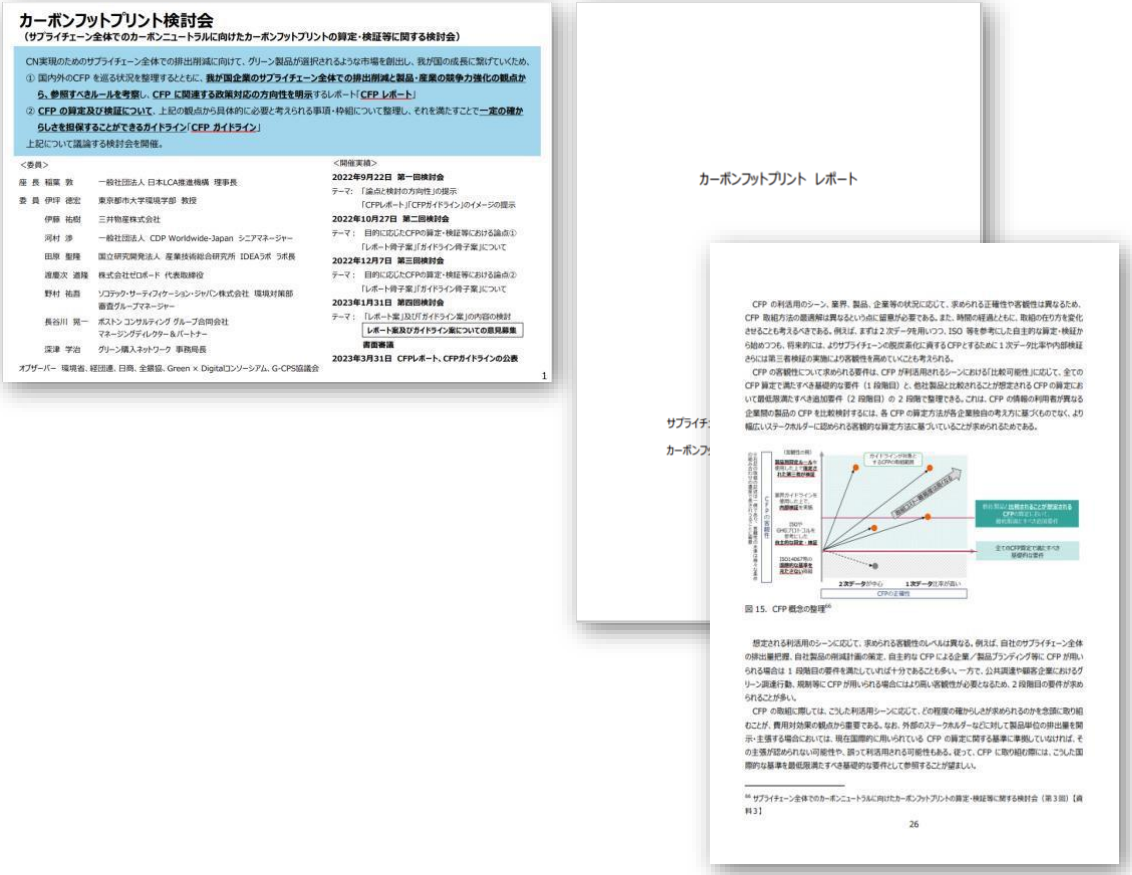
出所: ボストン コンサルティング グループ 作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

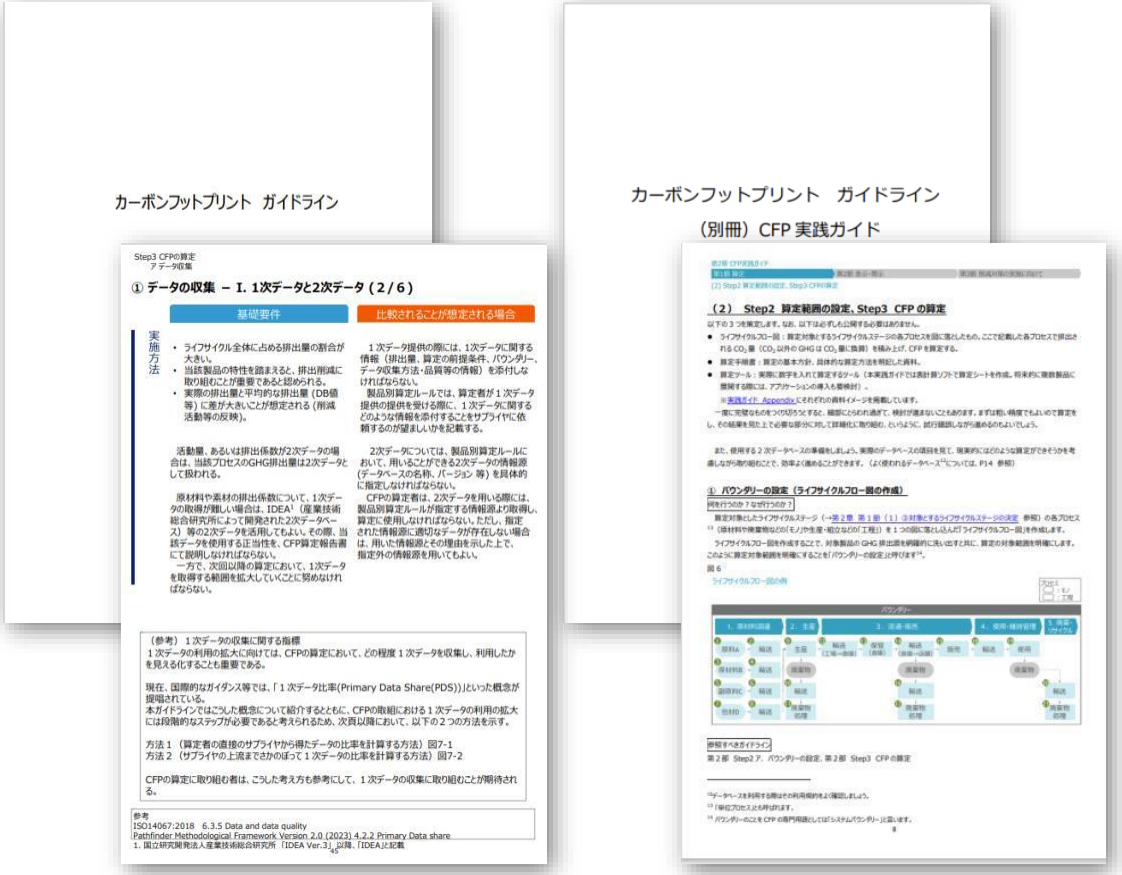
政府による基本的な考え方の整理が進み・・・

なぜ、いまCFPが必要なのか (3. 政府・自治体のCFP推進の視点)

経済産業省
カーボンフットプリント検討会



経済産業省・環境省
カーボンフットプリントガイドライン・CFP実践ガイド



出所: カーボンフットプリント検討会資料 (経済産業省、https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/carbon_footprint/pdf/20230331_1.pdf); カーボンフットプリントレポート・カーボンフットプリントガイドライン・CFP実践ガイド (経済産業省・環境省、https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP20230703_002.pdf; https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP_jissen_guide.pdf); ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

"グリーン製品"の登録・優先調達も検討されている

なぜ、いまCFPが必要なのか (3. 政府・自治体のCFP推進の視点)

資料１

環境省
Ministry of the Environment

グリーン製品の需要創出等による
バリューチェーン全体の脱炭素化に向けた検

中間とりまとめ（案）

令和７年７月25日
地球温暖化対策課

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　Re-Style　デコ活 くらしの中のエコろがけ　つなげよう、そえよう 森里川海　Plastics Smart　脱炭素

A ㋐ グリーン製品・サービスの評価・表示スキーム

環境省

- 脱炭素に資する取組により排出削減価値がある等の**グリーン製品**（名称は要検討）**の評価の考え方や表示の在り方について整理**。その際、表示する製品に関する情報（製品名、CFP等）について、政府に登録し、リストを公表。
- 本スキームは、消費者訴求に向けて、製品開発においてバリューチェーンで連携して排出削減に取り組む際の一定の目安となりうる。また、本スキームで評価されるグリーン製品は、**政府調達や各種政策支援等における要件とする**ことも想定。

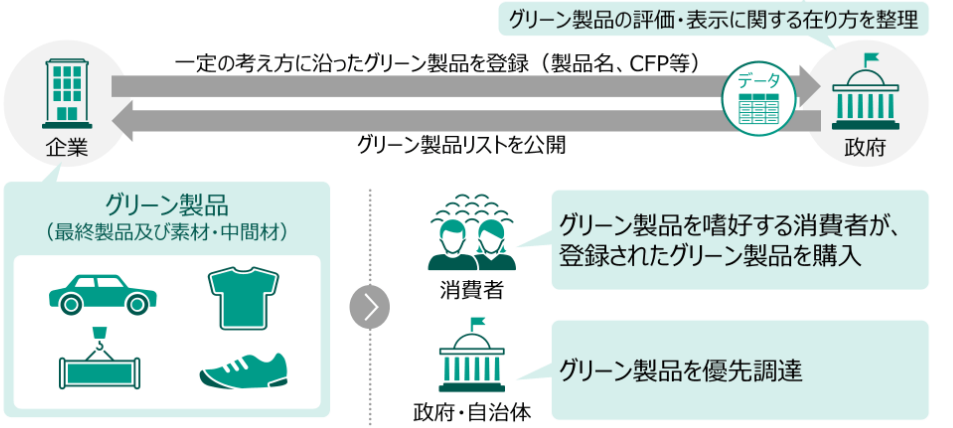
概要

サプライサイドにおける努力の結果として排出削減価値を有するようなグリーン製品（仮称）の評価の考え方を整理し、企業が該当製品を政府に登録することで、グリーン製品と表示できるようにする

目指す姿

- 統一的なグリーン製品の評価・表示の在り方を整理することで、消費者・企業双方のわかりやすさを実現する
  - 消費者に対し環境価値の高い製品を理解しやすくなる
  - 企業も、求められる水準を理解しやすくなる
- 本登録を通じて、政府が上市されているグリーン製品の実態を正確に把握することで、グリーン製品の目指す水準を適切に把握し、着実な脱炭素実現につなげる

事業イメージ



- □ グリーン製品の定義・範囲、名称、評価方法、検証の必要性、表示の際の留意点、登録する情報項目等の論点について、今年度から検討する場を設けて、議論を開始する
- □ 将来的には、優れた排出削減価値を有する製品を高く評価する制度的措置に繋げることも想定

17

Source: 環境省「グリーン製品の需要創出等によるバリューチェーン全体の脱炭素化に向けた検討会」中間とりまとめ（案）

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

・・・CFPの取り組みへの支援も始まっている

なぜ、いまCFPが必要なのか (3. 政府・自治体のCFP推進の視点)

大阪府

- モデル事業

江崎グリコ株式会社

サラヤ株式会社

三起商行株式会社

ミズノ株式会社

コクヨ株式会社

ロート製薬株式会社

環境省

- モデル事業

農水省

- 加工食品共通算定ルール

出所: グリーン・バリューチェーンプラットフォーム（環境省、PowerPoint Presentation (env.go.jp)）；持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議温室効果ガス見える化作業部会資料 (農林水産省); 農林水産省HP; ボストン コンサルティング グループ分析

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

カーボンフットプリント（CFP）セミナー

01 ご挨拶

02 CFPの概要
- CFPとは何か
- CFPが求められる背景

03 CFPの取り組み方　導入編

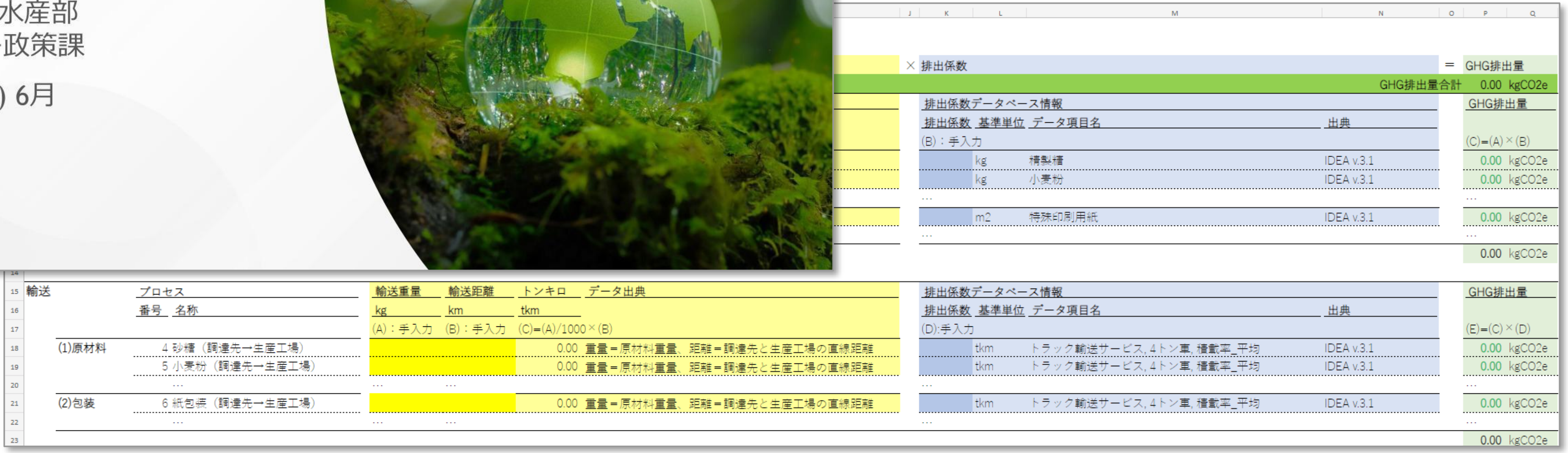
04 令和6年度CFPモデル事業参加者の声

05 CFPワークショップ/個別伴走支援のご案内

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

大阪府は2024年6月にCFP算定シート、使い方マニュアルを公開

https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/supplychain/supplychain.html



Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

大阪府では、カーボンフットプリント（CFP）の算定シートを作成

目的

大阪府が掲げる「2050年にCO2排出量実質ゼロ、2030年度排出量2013年度比40%削減」を達成するためには、府内の事業者がサプライチェーン全体で脱炭素化に取り組む必要

そのためには、対象製品のCO_2排出量の「見える化」、すなわちカーボンフットプリント (CFP)の算定が不可欠

府内事業者によるCFP算定をご支援したく、CFP算定シートを策定、府内の事業者に広く使っていただきたい

なお、CFP算定シート策定にあたっては、下記企業にモデル事業へのご協力をいただいた

- 江崎グリコ株式会社
- サラヤ株式会社
- 三起商行株式会社
- ミズノ株式会社
- コクヨ株式会社
- ロート製薬株式会社

CFP算定シートの概要

参照: CFPガイドライン、CFP実践ガイド（経済産業省・環境省）、ISO14067: 2018

CFP算定シートは、以下の製品群ごとに作成されている

- 製品群ごとの特徴がつかみやすい
- あくまで一例であり、業界などでの合意を得たCFP算定シートではないことは注意が必要

食品	https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat1_food_v2.xlsx
衣類	https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat2_clothing_v2.xlsx
化粧品	https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat3_cosmetics_v2.xlsx
スポーツ用品・プラスチック製品	https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat4_sports_v2.xlsx
文具	https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seat5_stationery.xlsx
家具	https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/105529/seat6_furniture.xlsx
医薬品	https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/105529/seat7_medicine.xlsx

利用時の注意点

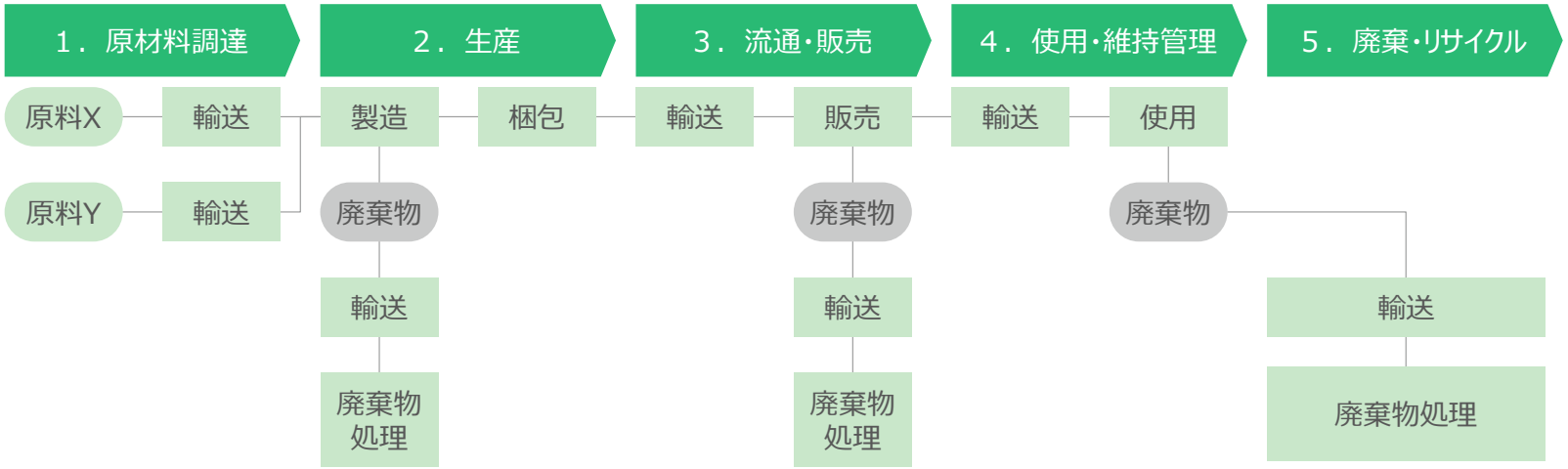
1. **算定結果を公表**する場合には、**CFP算定報告書**を作成する必要がある
2. 算定する際には、算定に必要な数値だけでなく、その後の記録もかねて詳細を記しておくことを推奨する
   - 算定シートとは別に、算定方法を記す**CFP算定手順書**を作成することも望ましい

CFPとは、製品の全てのプロセスで排出される温室効果ガス(GHG[1])量の合計のこと

カーボンフットプリント(CFP)
12.5kg-CO_2e

製品が原材料調達から
お客様によって廃棄される
までに排出する温室効果
ガスのCO_2相当量

算定方法のイメージ



- **各プロセスの活動量に排出係数を乗じてGHG排出量を計算し、その合計がCFPとなる**

活動量
原材料の重量、製造における電力投入量　など
（例）　原料Yの重量 X.Xkg

×

排出係数
各プロセスの単位あたりGHG排出量
（例）　原料Yの排出係数 XX$kgCO_2e/kg$

1．Green House Gas の略で、気候変動に影響を与える温室効果ガスのこと
出所：ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

算定シートを用いたCFP算定の流れ: 各プロセスごとに温室効果ガス (GHG) 排出量を算出

1 全プロセスの記載

原材料調達～生産～販売・流通～使用・維持管理～廃棄・リサイクルまで全てのプロセスを記載

2 排出係数の設定

各プロセスに対応する排出係数の項目を設定し、数値を入力

- ガイドでは、2次データベースの1つであるIDEA[1]を利用する例を示す

3 活動量の入力

設定した排出係数の単位に合わせる形で活動量を入力

- データ出典もあわせて記載

4 GHGの計算

活動量に排出係数を乗じて、各プロセスのGHG排出量を算出
全プロセスの合計がCFPとなる

- 活動量と排出係数の単位が揃っているか (gとkg 等) 注意

1．原材料調達段階 GHG排出量合計 0.00 kgCO2e

原材料/投入物	プロセス 番号	名称	原材料使用量 重量 (A)：手入力	単位	割合 自動計算	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (B)：手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (C)=(A)×(B)
(1)原材料	1	砂糖		g	0.0%	自社データ		1kg	精製糖	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	2	小麦粉		g	0.0%	自社データ		1kg	小麦粉	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…				…				…
(2)包装	3	紙包装		g	0.0%	自社データ		1m2	特殊印刷用紙用紙	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…				…				…
		合計重量	0.00		0.0%						0.00 kgCO2e

輸送	プロセス 番号	名称	輸送重量 kg (A)：手入力	輸送距離 km (B)：手入力	トンキロ tkm (C)=(A)/1000×(B)	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (D):手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (E)=(C)×(D)
(1)原材料	4	砂糖（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	5	小麦粉（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…	…			…				…
(2)包装	6	紙包装（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…	…			…				…
											0.00 kgCO2e

1 3 2 4

利用ガイド | 算定結果 | 算定シート (例 食品)

1. 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEA Ver.3.1 等
出所:ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

共通

製品の原材料調達～廃棄・リサイクルまでの全プロセスをリストアップ

1 全プロセスの記載

原材料調達～生産～販売・流通～使用・維持管理～廃棄・リサイクルまで全てのプロセスを記載

2 排出係数の設定

各プロセスに対応する排出係数の項目を設定し、数値を入力

- ガイドでは、2次データベースの1つであるIDEA[1]を利用する例を示す

3 活動量の入力

設定した排出係数の単位に合わせる形で活動量を入力

- データ出典もあわせて記載

4 GHGの計算

活動量に排出係数を乗じて、各プロセスのGHG排出量を算出
全プロセスの合計がCFPとなる

- 活動量と排出係数の単位が揃っているか (gとkg 等) 注意

1．原材料調達段階 GHG排出量合計 0.00 kgCO2e

原材料/投入物	プロセス 番号 名称	原材料使用量 重量 (A)：手入力	単位	割合 自動計算	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (B)：手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (C)=(A)×(B)
(1)原材料	1 砂糖		g	0.0%	自社データ		1kg	精製糖	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	2 小麦粉		g	0.0%	自社データ		1kg	小麦粉	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…	…				…				…
(2)包装	3 紙包装		g	0.0%	自社データ		1m2	特殊印刷用紙用紙	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…	…				…				…
	合計重量	0.00		0.0%						0.00 kgCO2e

輸送	プロセス 番号 名称	輸送重量 kg (A)：手入力	輸送距離 km (B)：手入力	トンキロ tkm (C)=(A)/1000×(B)	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (D):手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (E)=(C)×(D)
(1)原材料	4 砂糖（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	5 小麦粉（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…	…	…			…				…
(2)包装	6 紙包装（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…	…	…			…				…
										0.00 kgCO2e

1 3 2 4

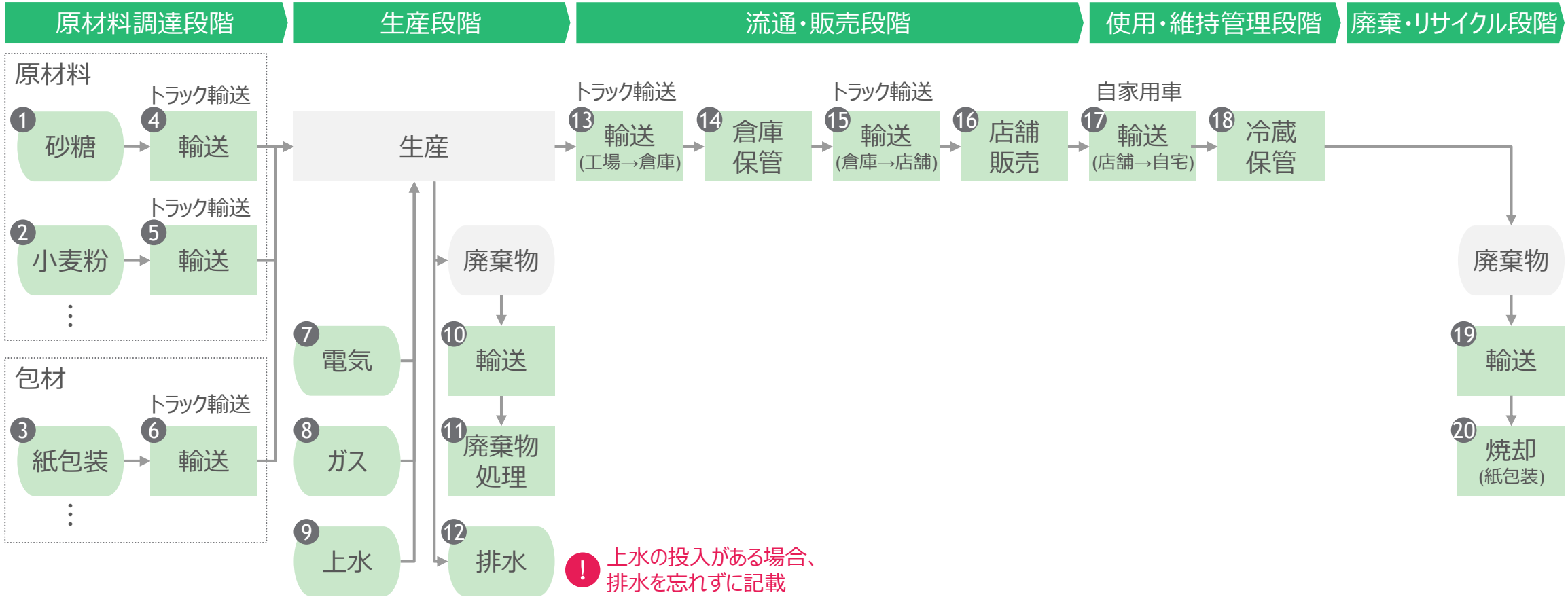
利用ガイド 算定結果 算定シート (例 食品)

1. 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEA Ver.3.1 等
出所:ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

対象製品のライフサイクルフロー図を書く

(サンプル: 食品)



上記フロー図に対応する形で算定シートにプロセスを記載 (番号を振ることで抜け漏れを防ぐことができます)

出所: ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

ライフサイクルフロー図に対応する形で算定シートにプロセスを記載

1 全プロセスの記載

原材料調達～生産～販売・流通～使用・維持管理～廃棄・リサイクルまで全てのプロセスを記載

2 排出係数の設定

各プロセスに対応する排出係数の項目を設定し、数値を入力

- ガイドでは、2次データベースの1つであるIDEA[1]を利用する例を示す

3 活動量の入力

設定した排出係数の単位に合わせる形で活動量を入力

- データ出典もあわせて記載

4 GHGの計算

活動量に排出係数を乗じて、各プロセスのGHG排出量を算出
全プロセスの合計がCFPとなる

- 活動量と排出係数の単位が揃っているか (gとkg 等) 注意

1．原材料調達段階　　GHG排出量合計 0.00 kgCO2e

原材料/投入物	プロセス 番号 名称	原材料使用量 重量 (A)：手入力	単位	割合 自動計算	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (B)：手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (C)=(A)×(B)
(1)原材料	1 砂糖		g	0.0%	自社データ		1kg	精製糖	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	2 小麦粉		g	0.0%	自社データ		1kg	小麦粉	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…	…				…				…
(2)包装	3 紙包装		g	0.0%	自社データ		1m2	特殊印刷用紙用紙	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…	…				…				…
	合計重量	0.00		0.0%						0.00 kgCO2e

輸送	プロセス 番号 名称	輸送重量 kg (A)：手入力	輸送距離 km (B)：手入力	トンキロ tkm (C)=(A)/1000×(B)	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (D):手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (E)=(C)×(D)
(1)原材料	4 砂糖（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	5 小麦粉（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…	…	…			…				…
(2)包装	6 紙包装（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…	…	…			…				…
										0.00 kgCO2e

1　3　2　4

利用ガイド　算定結果　算定シート (例 食品)

1．　国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEA Ver.3.1 等
出所:ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

排出係数を設定する

1 全プロセスの記載

原材料調達～生産～販売・流通～使用・維持管理～廃棄・リサイクルまで全てのプロセスを記載

2 排出係数の設定

各プロセスに対応する排出係数の項目を設定し、数値を入力

- ガイドでは、2次データベースの1つであるIDEA[1]を利用する例を示す

3 活動量の入力

設定した排出係数の単位に合わせる形で活動量を入力

- データ出典もあわせて記載

4 GHGの計算

活動量に排出係数を乗じて、各プロセスのGHG排出量を算出
全プロセスの合計がCFPとなる

- 活動量と排出係数の単位が揃っているか (gとkg 等) 注意

1．原材料調達段階　　GHG排出量合計 0.00 kgCO2e

原材料/投入物	プロセス 番号	名称	原材料使用量 重量 (A)：手入力	単位	割合 自動計算	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (B)：手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (C)=(A)×(B)
(1)原材料	1	砂糖		g	0.0%	自社データ		1kg	精製糖	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	2	小麦粉		g	0.0%	自社データ		1kg	小麦粉	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…				…				…
(2)包装	3	紙包装		g	0.0%	自社データ		1m2	特殊印刷用紙用紙	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…				…				…
	合計重量		0.00		0.0%						0.00 kgCO2e

輸送	プロセス 番号	名称	輸送重量 kg (A)：手入力	輸送距離 km (B)：手入力	トンキロ tkm (C)=(A)/1000×(B)	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (D):手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (E)=(C)×(D)
(1)原材料	4	砂糖（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	5	小麦粉（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…	…			…				…
(2)包装	6	紙包装（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…	…			…				…
											0.00 kgCO2e

利用ガイド　算定結果　算定シート (例 食品)

1．国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEA Ver.3.1 等
出所:ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

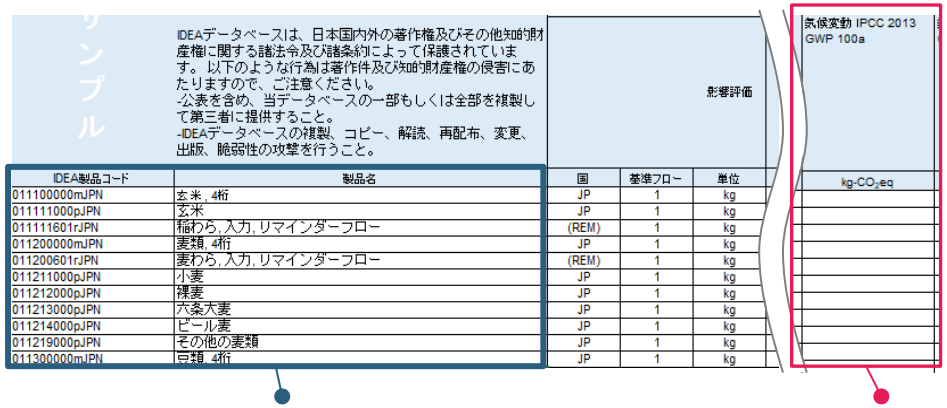
AIST-IDEA (有料の2次データベース)を利用することで、より細かな粒度で排出係数を設定できる

日本で広くCFP算定に利用される排出係数2次データベース

AIST-IDEAの特徴

- **約4,700種類**の日本の全製品・サービスの環境負荷物質を定量化
- 階層構造で網羅性を確保（**少なくとも何らかのデータがある**）
- **日本の平均値**をデータにしている

データベースのイメージ[1]



サンプル

IDEAデータベースは、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約によって保護されています。 以下のような行為は著作件及び知的財産権の侵害にあたりますので、ご注意ください。
-公表を含め、当データベースの一部もしくは全部を複製して第三者に提供すること。
-IDEAデータベースの複製、コピー、解読、再配布、変更、出版、脆弱性の攻撃を行うこと。

IDEA製品コード	製品名	国	基準フロー	単位	影響評価 気候変動 IPCC 2013 GWP 100a kg-CO_2eq
011100000mJPN	玄米, 4桁	JP	1	kg	
011111000pJPN	玄米	JP	1	kg	
011111601rJPN	稲わら, 入力, リマインダーフロー	(REM)	1	kg	
011200000mJPN	麦類, 4桁	JP	1	kg	
011200601rJPN	麦わら, 入力, リマインダーフロー	(REM)	1	kg	
011211000pJPN	小麦	JP	1	kg	
011212000pJPN	裸麦	JP	1	kg	
011213000pJPN	六条大麦	JP	1	kg	
011214000pJPN	ビール麦	JP	1	kg	
011219000pJPN	その他の麦類	JP	1	kg	
011300000mJPN	豆類, 4桁	JP	1	kg	

- Excelの検索機能で対応する製品名を探すことが有効
- 温室効果ガス排出量(CO_2相当量に換算)

環境省の無料データベース[2] よりも、AIST-IDEAでは詳細な粒度で排出係数を設定可能

環境省のデータベース の項目例	AIST-IDEA(Ver.3.1の例)の項目例
砂糖	粗糖 (糖みつ、黒糖を含む)
	粗糖, 甘しゃ,沖縄・鹿児島
	糖蜜, 沖縄・鹿児島
	精製糖
ぶどう糖・水あめ・異性化糖	ぶどう糖
	水あめ、麦芽糖
	異性化糖
精穀	精米（砕精米を含む)
	精麦
製粉	小麦粉
	こんにゃく粉
	他に分類されない精穀・製粉品

1. 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 AIST-IDEA Ver.3.1
AIST-IDEAの販売元は、こちらを参照 https://riss.aist.go.jp/lca-consortium/aist-idea/
2. 環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース」(https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate_05.html)

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

対応する排出係数をデータベース (AIST-IDEA等) で探し、製品名・数値・単位を記載

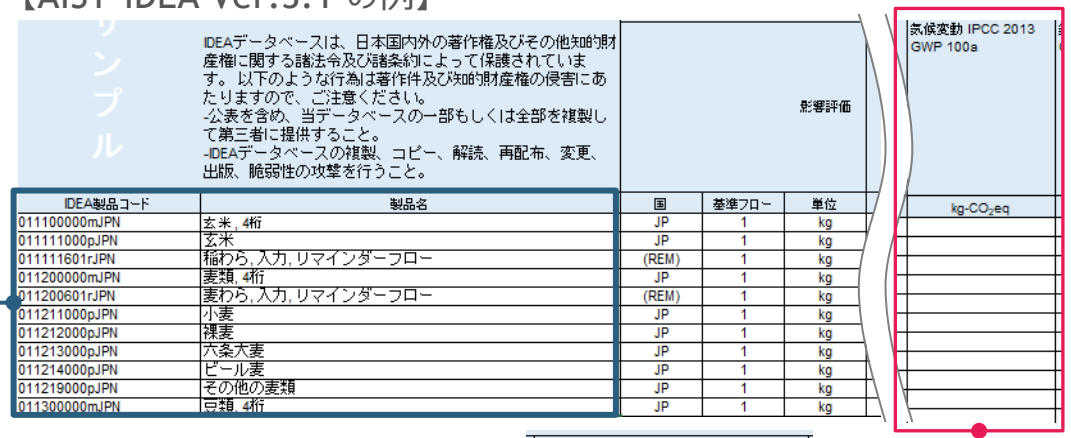
AIST-IDEAにおける製品名の例

食品

製品名	IDEA製品コード	単位
小麦粉	096211000pJPN	kg
たまねぎ	012215000pJPN	kg
肉鶏	017313000pJPN	kg
さわら類	031921000mJPN	kg
チョコレート類	097912000pJPN	kg
でんぷん	099111000pJPN	kg
精製糖	095211000pJPN	kg
食用塩	162412201pJPN	kg
しょう油	094211203pJPN	L
食用アミノ酸	094211202pJPN	kg

AIST-IDEAの見方

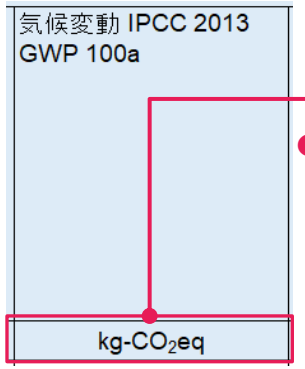
【AIST-IDEA Ver.3.1[1]の例】


サンプル

IDEAデータベースは、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約によって保護されています。以下のような行為は著作件及び知的財産権の侵害にあたりますので、ご注意ください。
-公表を含め、当データベースの一部もしくは全部を複製して第三者に提供すること。
-IDEAデータベースの複製、コピー、解読、再配布、変更、出版、脆弱性の攻撃を行うこと。

IDEA製品コード	製品名	国	基準フロー	単位	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a kg-CO_2eq
011100000mJPN	玄米, 4桁	JP	1	kg	
011111000pJPN	玄米	JP	1	kg	
011111601rJPN	稲わら, 入力, リマインダーフロー	(REM)	1	kg	
011200000mJPN	麦類, 4桁	JP	1	kg	
011200601rJPN	麦わら, 入力, リマインダーフロー	(REM)	1	kg	
011211000pJPN	小麦	JP	1	kg	
011212000pJPN	裸麦	JP	1	kg	
011213000pJPN	六条大麦	JP	1	kg	
011214000pJPN	ビール麦	JP	1	kg	
011219000pJPN	その他の麦類	JP	1	kg	
011300000mJPN	豆類, 4桁	JP	1	kg	

- Excelの検索機能で対応する製品名を探すことが有効
- 一致する製品名が無い場合は、類似の製品や大きなカテゴリーで代替
  （例：薄力粉→小麦粉）



- 排出される温室効果ガスを二酸化炭素相当量に換算した場合の重量のこと

【IDEAで対応する製品名を探すヒント】
- IDEA製品コードには9桁の数字が含まれており、上2桁は別表の日本標準産業分類の中分類番号に基本的に対応しています。そのため、たまねぎ等の農産品は「01」、さわら類等の水産品は「03」、小麦粉やチョコレート等の食品は「09」からそれぞれ始まる製品コードが付されていることが一般的です。
- また、含まれている商品がわかりづらい場合には、別表の工業統計調査商品分類表も参考になります。

1. 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 AIST-IDEA Ver.3.1 出所: AIST-IDEA Ver.3.1を元にボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

活動量のデータを収集し、入力する

1 全プロセスの記載

原材料調達～生産～販売・流通～使用・維持管理～廃棄・リサイクルまで全てのプロセスを記載

2 排出係数の設定

各プロセスに対応する排出係数の項目を設定し、数値を入力

- ガイドでは、2次データベースの1つであるIDEA[1]を利用する例を示す

3 活動量の入力

設定した排出係数の単位に合わせる形で活動量を入力

- データ出典もあわせて記載

4 GHGの計算

活動量に排出係数を乗じて、各プロセスのGHG排出量を算出
全プロセスの合計がCFPとなる

- 活動量と排出係数の単位が揃っているか (gとkg 等) 注意

1．原材料調達段階　　GHG排出量合計 0.00 kgCO2e

原材料/投入物	プロセス 番号	名称	原材料使用量 重量 (A)：手入力	単位	割合 自動計算	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (B)：手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (C)=(A)×(B)
(1)原材料	1	砂糖		g	0.0%	自社データ		1kg	精製糖	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	2	小麦粉		g	0.0%	自社データ		1kg	小麦粉	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…				…				…
(2)包装	3	紙包装		g	0.0%	自社データ		1m2	特殊印刷用紙用紙	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…				…				…
		合計重量	0.00		0.0%						0.00 kgCO2e

輸送	プロセス 番号	名称	輸送重量 kg (A)：手入力	輸送距離 km (B)：手入力	トンキロ tkm (C)=(A)/1000×(B)	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (D):手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (E)=(C)×(D)
(1)原材料	4	砂糖（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	5	小麦粉（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…	…			…				…
(2)包装	6	紙包装（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…	…			…				…
											0.00 kgCO2e

利用ガイド　算定結果　算定シート (例 食品)

1．国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEA Ver.3.1 等
出所:ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

排出係数の単位に合うように各プロセスの活動量 (重量や電力量 等) を収集

配分について

算定のポイント

各プロセスについて、算定対象固有の活動量データが取得できない場合は、**「配分」**を選択する

- 「配分」とは、例えば工場生産における製品Aの電力使用量を直接取得することが難しい場合に、工場全体の電力データを取得した上で、重量や個数等に応じて製品Aの相当分として割り振る考え方

配分のイメージ

工場での年間生産個数

製品A	**700個**
製品B	200個
製品C	100個

合計 1000個

工場全体の年間電力消費量

1000kWh

÷

年間総生産量（個数ベースの場合）

1000個

配分の方法は、
- **個数ベース**
- 重量ベース
- 体積ベース
- 金額ベース 等

=

製品A 1個の生産にかかる電力量

1kwh

出所: ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

各プロセスのGHGの合計値として、CFPを算定

1 全プロセスの記載

原材料調達～生産～販売・流通～使用・維持管理～廃棄・リサイクルまで全てのプロセスを記載

2 排出係数の設定

各プロセスに対応する排出係数の項目を設定し、数値を入力

- ガイドでは、2次データベースの1つであるIDEA[1]を利用する例を示す

3 活動量の入力

設定した排出係数の単位に合わせる形で活動量を入力

- データ出典もあわせて記載

4 GHGの計算

活動量に排出係数を乗じて、各プロセスのGHG排出量を算出
全プロセスの合計がCFPとなる

- 活動量と排出係数の単位が揃っているか (gとkg 等) 注意

1．原材料調達段階　　GHG排出量合計　0.00 kgCO2e

原材料/投入物	プロセス 番号	名称	原材料使用量 重量 (A)：手入力	単位	割合 自動計算	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (B)：手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (C)=(A)×(B)
(1)原材料	1	砂糖		g	0.0%	自社データ		1kg	精製糖	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	2	小麦粉		g	0.0%	自社データ		1kg	小麦粉	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…				…				…
(2)包装	3	紙包装		g	0.0%	自社データ		1m2	特殊印刷用紙用紙	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…				…				…
		合計重量	0.00		0.0%						0.00 kgCO2e

輸送	プロセス 番号	名称	輸送重量 kg (A)：手入力	輸送距離 km (B)：手入力	トンキロ tkm (C)=(A)/1000×(B)	データ出典	排出係数データベース情報 排出係数 (D):手入力	基準単位	データ項目名	出典	GHG排出量 (E)=(C)×(D)
(1)原材料	4	砂糖（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	5	小麦粉（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…	…			…				…
(2)包装	6	紙包装（調達先→生産工場）			0.00	重量＝原材料重量、距離＝調達先と生産工場の直線距離		1tkm	トラック輸送サービス, 4トン車, 積載率_平均	IDEA v.3.1	0.00 kgCO2e
	…		…	…			…				…
											0.00 kgCO2e

1　3　2　4

利用ガイド　算定結果　算定シート (例 食品)

1．国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEA Ver.3.1 等
出所:ボストン コンサルティング グループ作成

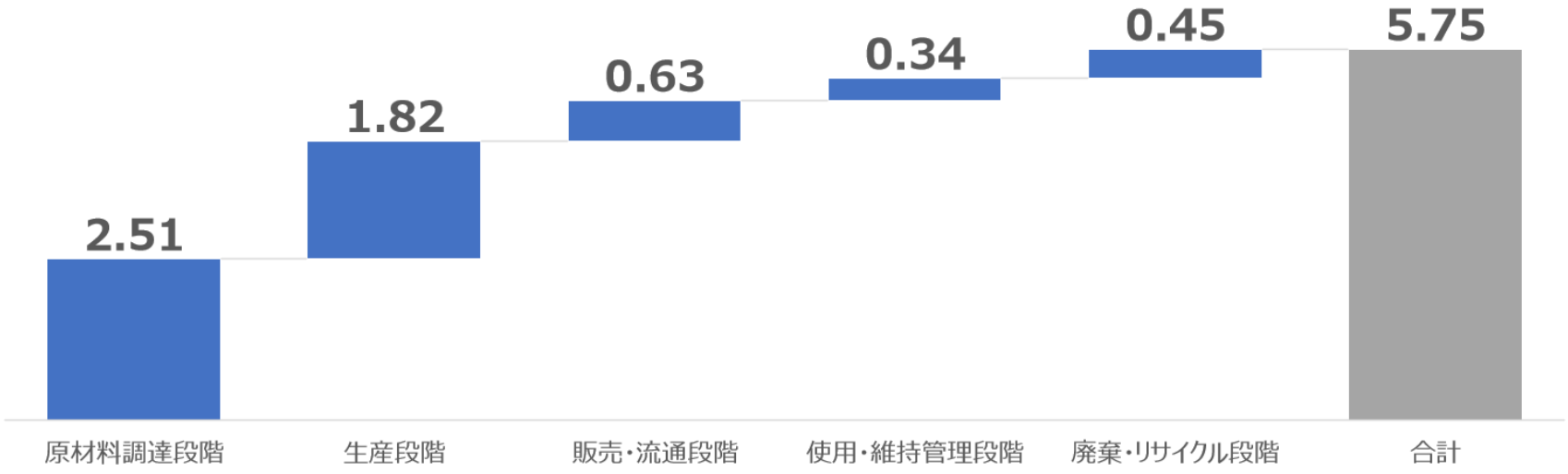
Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

グラフ化することで、排出量の多い段階がわかりやすくなる

数値はイメージ

CFP算定結果

原材料調達段階	**2.51**	kgCO2e
生産段階	**1.82**	kgCO2e
販売・流通段階	**0.63**	kgCO2e
使用・維持管理段階	**0.34**	kgCO2e
廃棄・リサイクル段階	**0.45**	kgCO2e
合計	**5.75**	kgCO2e



利用ガイド | 算定結果 | 算定シート (例 食品)

出所: ボストン コンサルティング グループ作成

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

カーボンフットプリント（CFP）セミナー

01 ご挨拶

02 CFPの概要
- CFPとは何か
- CFPが求められる背景

03 CFPの取り組み方　導入編

04 令和6年度CFPモデル事業参加者の声

05 CFPワークショップ/個別伴走支援のご案内

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

ご登壇企業

コクヨ株式会社

グローバルステーショナリー事業本部
グローバルプロダクト戦略統括本部
グローバルプロダクト開発本部
開発統括部　インフラ整備グループ

武内　計憲様

ロートは、ハートだ。

ロート製薬株式会社

サステナブル経営推進室
室長

藤田　晋太郎様

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

KOKUYO

コクヨ株式会社

グローバルステーショナリー事業本部
グローバルプロダクト戦略統括本部
グローバルプロダクト開発本部
開発統括部　インフラ整備グループ

武内　計憲様

なぜCFP算定を行ったのか

CFP算定により、何がわかったか

今後の展開は

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

コクヨ株式会社について

KOKUYO

創業1905年、元々和式帳簿の表紙店を開業したのが始まり。その後、ノート、ファイルなどの文具製品、1960年代からキャビネットなどのオフィス家具も展開し、2000年代に入りオフィス通販事業も手掛けています。

1905 〉1968

創立から基盤確立の時代

1905(明治38)年に創業した当社は、創業者の「人の役に立つことをしていれば、必ず受け入れられる」という信念のもと、帳簿表紙の製造請負を手がけました。時代のニーズに応じて文具に事業を広げ、現在にいたる基盤を固めました。

1969 〉2000

業容拡大からスピード成長の時代

文具の拡大も目指し、「ファイリングキャビネット」に代表されるオフィス家具事業に参入しました。製品販売だけでなく空間全体を構築する「モノからコト」へ付加価値を広げ差別化を図ったことで、急成長を実現しました。

2001 〉2024

「モノからコト」の深化・アジア進出→領域拡張の時代

オフィス用品の通販事業へと事業を広げながら、中国を皮切りにアジアへ進出し、現在にいたる事業ポートフォリオを確立しました。主力であるファニチャー事業やステーショナリー事業では、オフィス空間の構築やユーザーの潜在ニーズに応える文具の開発の拡大を進め、コクヨの強みである「共感共創」、「実験カルチャー」、「体験デザイン」の蓄積を進めてきました。

事業の拡大

和帳表紙店 / ステーショナリー / オフィス家具 / 空間構築 / オフィス通販

初代Campusノート

Campusノートのヒット

ページがばらけず、膨らまない「無線とじ」とカラフルなデザインを採用し、学生の心を掴む。現在までの販売数は37億冊を超えるヒット商品となった。

カウネット・ぺんりねっとの展開

2000年前後を境に、インターネットを活用してオフィス用品購入の効率化を図るニーズが急拡大した。このニーズを受け、当社は事務用品受注代行システム「ぺんりねっと」やオフィス用品の総合通販事業「カウネット」を構築した。

カウネット創刊号

良品廉価という和帳表紙の販売方針

和帳製造では後発だったため、競合との差別化を図るべく「良品廉価」の方針を掲げる。従来の筆ではなく、ペンでも書きやすい和帳を低価格で販売するなど、顧客のニーズに応える製品づくりを行った。

和式帳簿の表紙

ファイリングキャビネットの発売

オフィス向けスチール家具の販売だけでなく、欧米式のファイリング方法を伝授し「モノからコト」という戦略の基礎を築いた。オフィス空間構築も手がける「体験デザイン」の出発点でもある。

ファイリングキャビネット

THE CAMPUS

「THE CAMPUS」オープン

オフィス空間構築の付加価値向上や製品開発に向け、1960年代から「ライブオフィス」を運営。2021年には「働く・暮らす・学ぶ」の実験場である「THE CAMPUS」をオープンし、実験カルチャーの実践を続けている。

積み上げてきた3つの強み

- 共感共創
- 実験カルチャー
- 体験デザイン

自律協働社会の実現にむけて

KOKUYO

コクヨグループは2022年、サステナブル経営指針を策定し、事業を通じて社会課題が解決され続ける「自律協働社会」を実現し、社会価値と経済価値の両立を目指すことを宣言しました。

マテリアリティの設定

自律協働社会の実現に向け、重要課題（マテリアリティ）を設定し、活動内容や範囲、重要度を再確認し、
経済性と社会性の2軸で各課題を整理し、2030年にありたい姿に基づいてその指標（KPI）を設定しました。

SBT認定の取得

KOKUYO

マテリアリティの中でも気候変動対策に関しては、コクヨは2030年までのSBT短期目標を設定し、2024年8月にSBT認定を取得しました。

- **Scope1,2のGHG排出量を2022年から2030年までに総量で42%削減する**
- **Scope3の“購入した製品・サービス”によるGHG排出量を2022年から2030年までに総量で25%削減する**
- **2028年までに“購入した製品・サービス”によるGHG排出量の12.5%に相当するサプライヤーにSBT目標を設定させる**

Scope1：燃料の燃焼、工業プロセス等、事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope2：他者から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：Scope1,2以外の間接排出（算定事業者の活動に関連する他社の排出）

なぜCFP算定を行ったのか

近年の気候変動問題への関心の高まりを踏まえ、CFP算定の取り組みを始めました。
・CFPを活用した公共調達・・・グリーン購入法の配慮事項
・企業のサプライチェーン排出量の把握・・・SBT認定取得数の増加
・顧客のサプライヤエンゲージメント・・・CFP開示/Scope3把握/排出削減要請など

●グリーン購入法（文具類共通）の配慮事項

資料２

令和4年度グリーン購入法基本方針説明会資料

環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更について

環境省大臣官房環境経済課

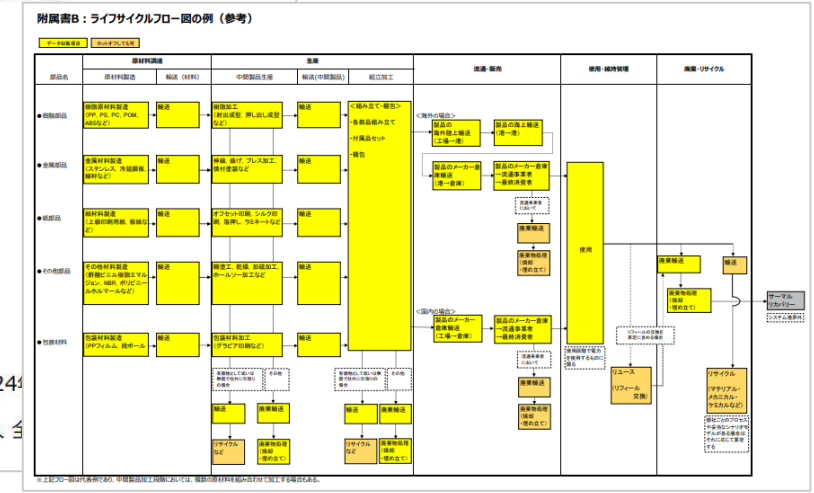
【配慮事項】
⑥製品の原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量を地球温暖化係数に基づき二酸化炭素相当量に換算して算定した定量的環境情報が開示されていること。

令和4年度　グリーン購入法基本方針説明会資料　より抜粋

●文具業界でのCFP算定ルール（PCR）策定

文具・事務用品
カーボンフットプリント
製品別算定ルール

Ver.1.0



2024

一般社団法人 全

全日本文具協会　カーボンフットプリント製品別算定ルール　より抜粋

CFP算定により、何がわかったか

多くの商品は、原材料製造・調達部分のウェイトが大きいことがわかりました。
このことから、CFPの削減のためには材料の軽量化やプラスチックから紙への置き換えが有効であることがわかりました。

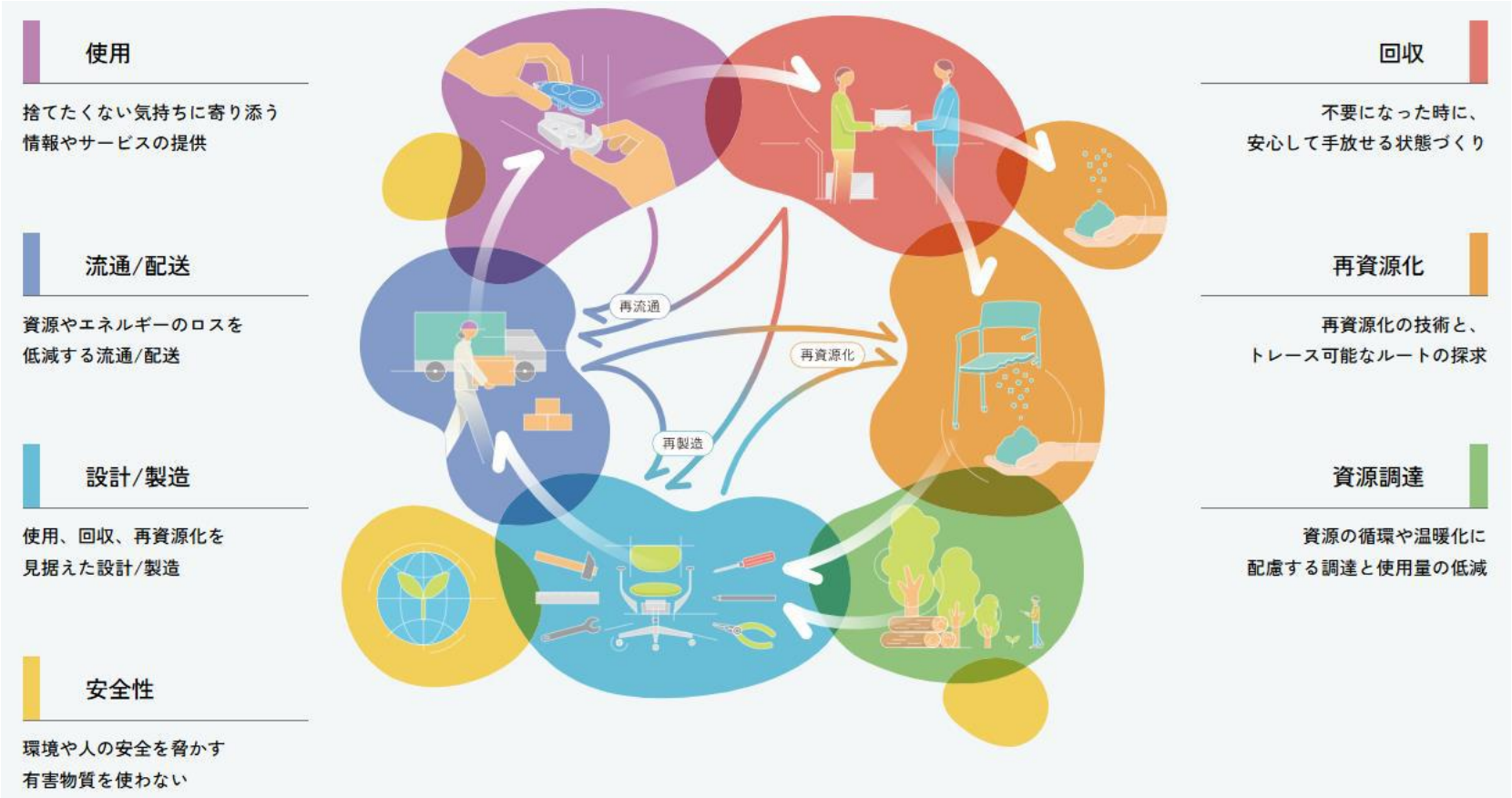
	❶ 原材料調査段階	❷ 生産段階	❸ 流通・販売段階	❹ 使用段階	❺ 廃棄・リサイクル段階	合計
キャンパスノート	0.22 / つなげるーぱ 0.21 / 63%	0.02 / 6%	0.05 / 14%	0.00 / 0%	0.05 / 14%	0.35 kg-CO_2e
フラットファイル	0.08 / 50%	0.02 / 13%	0.03 / 19%	0.00 / 0%	0.03 / 19%	0.16 kg-CO_2e
テープのり	0.07 / 19%	0.12 / 32%	0.03 / 8%	0.00 / 0%	0.15 / 41%	0.37 kg-CO_2e
ワークステーション	469.99 / 80%	85.64 / 15%	12.89 / 2%	0.00 / 0%	19.89 / 3%	588.41 kg-CO_2e
イス	44.43 / 75%	4.50 / 8%	0.57 / 1%	0.00 / 0%	9.80 / 17%	59.30 kg-CO_2e

気候変動/取り組み｜気候変動｜環境｜サステナビリティ｜コクヨ

今後の展開について

・今回の取り組みでは専門家によるアドバイス・分析により、多くの気づきを得ることができました。
・今後は、弊社独自の循環設計指針「SUTENAI CIRCLE」に基づくモノ・コト作りを拡大し、省資源設計や再製品化の取り組みをすすめることで、CFPの削減および、社会価値と経済価値の両立を目指します。

SUTENAI CIRCLE



ロートは、ハートだ。
ROHTO

ロート製薬株式会社

サステナブル経営推進室
室長

藤田　晋太郎様

なぜCFP算定を行ったのか

CFP算定により、何がわかったか

今後の展開は

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

大阪府「サプライチェーン全体のCO_2排出量見える化モデル事業」

令和6年度参加企業

ロート製薬株式会社
サステナブル経営推進室　室長
藤田晋太郎

会社概要

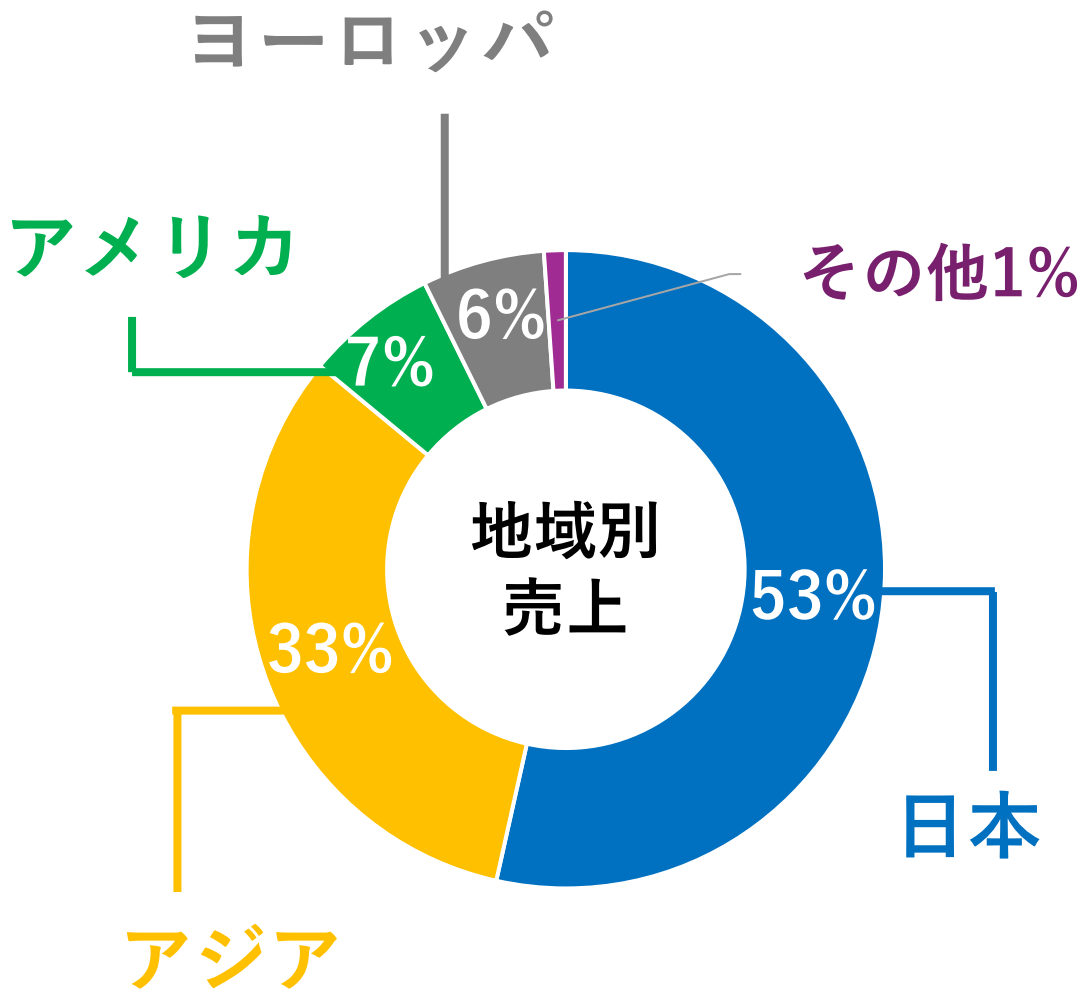
ロートは、ハートだ。
ROHTO

ロート製薬株式会社

- 創業　：1899年
- 本社　：大阪市
- 売上高　：3,086 億円　（連結）2025年3月期
- 従業員数　：9,144　名　（連結）2025年3月末現在

ロートは、ハートだ。

ROHTO



ロートは、ハートだ。

ROHTO

人を、社会を、明日の世界を元気にする。

なぜCFP算定を行ったのか？

創業以来の
存在意義

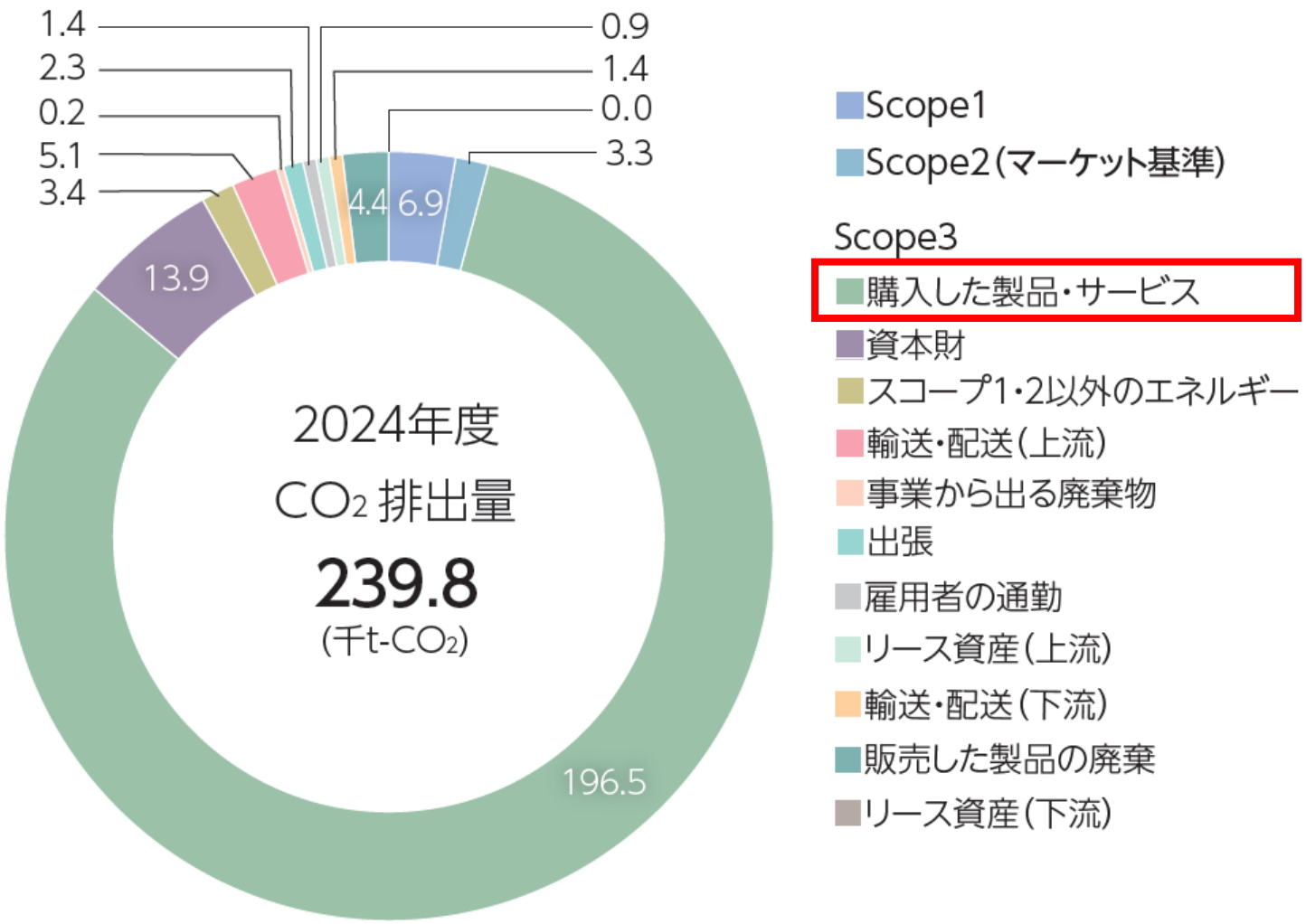
**社会課題の
解決**

環境負荷低減
取組を加速

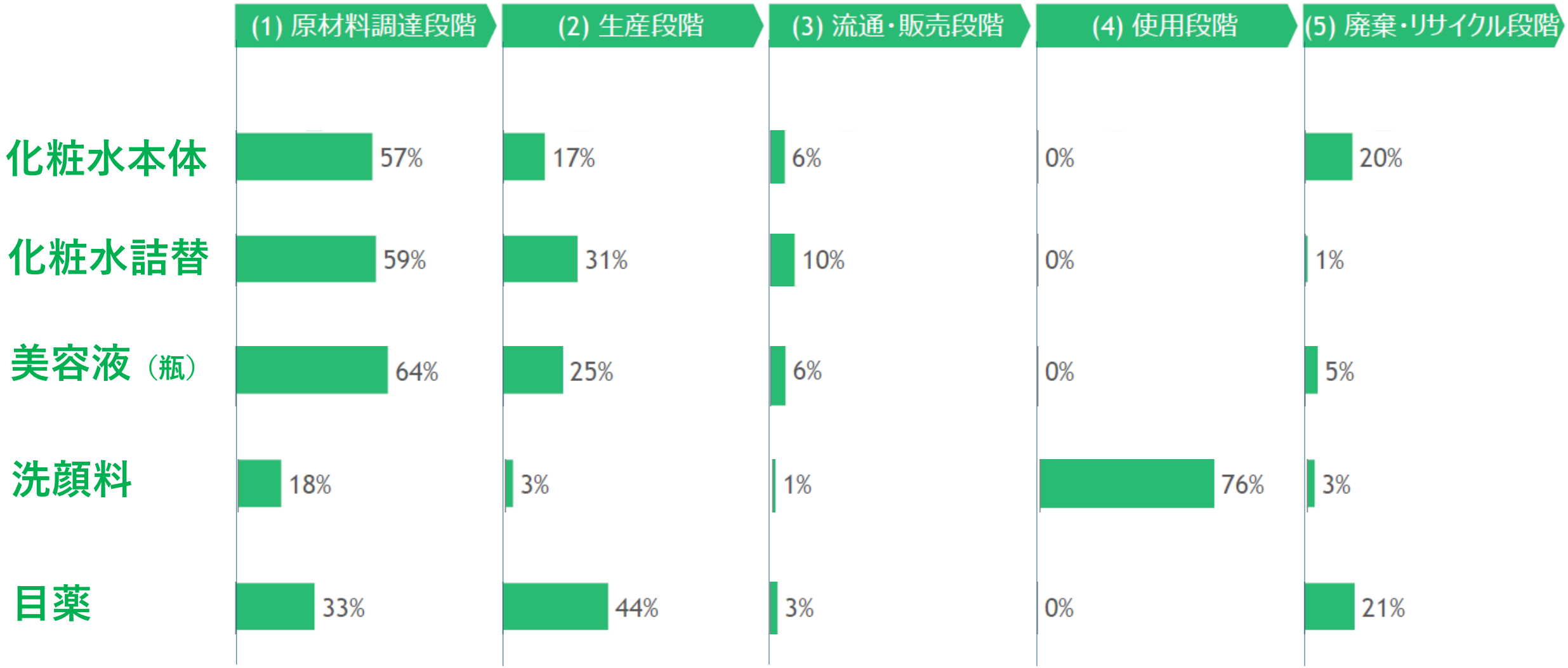
適切な公開

お取引先
お客様と
取組の協働

キーワードは、「見える化」


1.4
2.3
0.2
5.1
3.4
0.9
1.4
0.0
3.3
4.4
6.9
13.9
196.5
2024年度
CO2 排出量
239.8
(千t-CO2)
Scope1
Scope2(マーケット基準)
Scope3
購入した製品・サービス
資本財
スコープ1・2以外のエネルギー
輸送・配送(上流)
事業から出る廃棄物
出張
雇用者の通勤
リース資産(上流)
輸送・配送(下流)
販売した製品の廃棄
リース資産(下流)

算定によって分かったこと



今後の展開

・算定アイテムの横展開

・分析結果を踏まえ、長期視点も含めた新たなアプローチを検討

・ステークホルダーとの協働につなげる

ロートは、ハートだ。
ROHTO

ありがとうございました

カーボンフットプリント（CFP）セミナー

01 ご挨拶

02 CFPの概要
- CFPとは何か
- CFPが求められる背景

03 CFPの取り組み方　導入編

04 令和6年度CFPモデル事業参加者の声

05 CFPワークショップ/個別伴走支援のご案内

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

大阪府

CFP

令和7年度

カーボンフットプリント セミナー/ワークショップのご案内

製品・サービスのカーボンフットプリント（CFP）に関するセミナーと、CFPの模擬算定など、CFPを体験していただくワークショップを開催します。ぜひご参加ください。

カーボンフットプリント（CFP）とは…

商品やサービスが作られてから捨てられるまでのライフサイクルの各過程で排出された 温室効果ガスの排出量の合計をCO_2量に換算して表示し、「見える化」する仕組のこと

CFPセミナー

CFPにご興味のある方、まずはこちらから!

日時	申込期限	定員
8/25（月） 14:00-15:30	~8/21（木）	70名

参加費 無料

CFPワークショップ（2回連続講座）

具体的な取組方法や知見を深めたい方はこちら!

日時

第1回 10/6（月）

第2回 11/11（火）

▶Aコース 13:00-14:30

▶Bコース 16:00-17:30

申込期限 ~9/30（火）

定員 各コース 50名

＊第1回と第2回は同じコースにご参加ください

大阪府 カーボンフットプリント (CFP) ワークショップ 詳細

大阪府

	日時 • 模擬算定テーマ・モデル事業参加企業	ワークショップの内容
第1回 **2025年** **10月6日** **(月)**	**Aコース 13:00-14:30** • 文具・オフィス家具 **Bコース 16:00-17:30** • 化粧品	**1. CFPの取り組み方 実践編** ✓ CFP算定において最低限やるべきこと **2. CFP模擬算定に挑戦** ✓ 架空の製品で簡易的にCFP算定を体験
第2回 **2025年** **11月11日** **(火)**	**Aコース 13:00-14:30** • 文具・オフィス家具 コクヨ株式会社 **Bコース 16:00-17:30** • 化粧品 ロート製薬株式会社	**1. CFPでよくあるお悩みの解説** ✓ 初めてのCFP算定における留意点 **2. CFPに取り組むことで、わかったこと** ✓ 令和6年度モデル事業参加者の声

(ご参考：昨年度　CFP模擬算定教材)

ご留意事項	各コースごとに第1回のテーマ・第2回の令和6年度モデル事業参加企業が異なります。ご興味のあるコースにご参加ください。自社の領域とは異なるテーマでも、基本的な考え方は習得できます。

連続個別相談
で徹底サポート!

CFP算定・表示など 個別伴走支援のご案内

CFPの算定などに取り組もうとすると「これでいいのか」との悩みはつきもの。
そんな、1歩を踏み出そうとされている企業を対象に、定期的な個別の打ち合わせを通じて、ご質問にお答えいたします。
少しずつ作業を進めながら出てくる疑問に対し、アドバイスを行うなど伴走支援いたします。

対象者例

- CFPの算定などに取り組みたいが、何から始めたらいいかわからず踏み出せない方
- CFPの算定を始めたが、明確でない部分があり、誰かに相談したい方等

ご支援内容例

1. 算定に適した製品をご相談の上、決定
2. 算定を行うためのステップとスケジュールを事務局からご提示し、ご参加者様に実施していただく
3. 各ステップの間に個別相談を行い、事務局がご質問に答えながら、ご参加者様に算定等を進めていただく

実施方法

オンライン（30分の打ち合わせ×6回を基本として、参加者と相談の上、決定）

応募方法

下記URLの申込書にご記入の上、Osakacfp@bcg.com にご提出ください
https://image.bcg-email.com/lib/fe5515707c62007b721d/m/1/dd245c5c-a476-44ac-ae88-ad4e15584c00.docx
ご質問がありましたら、Osakacfp@bcg.com までお気軽にご連絡ください

応募期限

令和7年
~11/28(金)

カーボンフットプリント（CFP）セミナー

01 ご挨拶

02 CFPの概要
- CFPとは何か
- CFPが求められる背景

03 CFPの取り組み方　導入編

04 令和6年度CFPモデル事業参加者の声

05 CFPワークショップ/個別伴走支援のご案内

Copyright © 2025 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

Disclaimer (免責事項)

ボストン・コンサルティング・グループ合同会社 (以下「BCG」という。) が提供したサービスや資料はBCGの標準契約条件 (ご要望により入手可能)、あるいは、BCGが既に締結したその他の契約に従うものとします。BCGは法律、会計、税に関するアドバイスを提供するものではありません。クライアントはこれらの点について独立 (インディペンダント) したアドバイスを取得する責任を負っており、当該アドバイスはBCGが提供したガイダンスに影響する可能性があります。さらに、BCGは、上記情報が失効しあるいは不正確になっているかどうかに拘わらず、当該資料の最終報告日以降に資料をアップデートする保証はしておりません。

プレゼンテーションに含まれる資料は、クライアントの取締役会及びクライアント内の関係者のみが使用することとされており、提案書に規定されている限定された目的のためにのみ作成されています。これらの資料は、書面による事前のBCGの同意が無い限り、コピーを作成したり、クライアント以外の者あるいは企業 (以下「第三者」という。) に渡すことはできません。これらの資料は議論の焦点としてのみ提供され、口頭によるコメントなくしては不完全であり、独立のドキュメントとしては依拠することができません。さらに、第三者は、いかなる目的であれこれらの資料に依拠してはならず、また、依拠することは不合理であります。法律が認める最大限の範囲で (BCGが署名した書面により別途合意しない限り) BCGは第三者に対し一切の責任を負っておらず、第三者は正確性や完全性を含むサービス、プレゼンテーションその他の資料についての全ての時点におけるBCGに対する権利や請求を本文書により放棄します。当該文書の受領及び検討は上述の合意及びその約因とみなします。

BCGは市場取引の妥当性に関する適正意見 (フェアネス・オピニオン) または評価を提供しておらず、そのような適正意見または評価として上記資料に依拠することまたは上記資料を解釈してはならないものとします。さらに、これらの資料に含まれる経済的評価、マーケット及び経済の予測情報、結論は一般的な評価手法に基づいており、確定的な予測ではなく、BCGにより保証されていません。BCGはクライアントからBCGに提供された公開されかつ/または機密のデータ及び前提を使用しますが、これらの分析において使われたデータ及び前提はBCGによって独立に検証されたものではありません。元となったデータまたは前提の変更は明らかに分析及び結論に影響を及ぼします。

Copyright © 2024 by Boston Consulting Group. All rights reserved.

BOSTON
CONSULTING
GROUP

bcg.com